

# 128Kワイヤレス通信対応 ワイヤレスパソコンアダプタ128

## 取扱説明書

このたびは、ワイヤレスパソコンアダプタ128をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品  
W-128RU1

1  
お使いに  
なる前に

2  
通信をする  
準備

3  
Windows  
Me  
インターネットへ  
接続する

4  
Windows  
98  
インターネットへ  
接続する

5  
Windows  
2000  
インターネットへ  
接続する

6  
Windows  
XP  
インターネットへ  
接続する

7  
通信の設定

8  
データ通信  
機能

9  
「」参考に






# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

## 本書中のマーク説明

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。

本商品を設置するための工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 98 SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Editionの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Hayesは米国Hayes Microcomputer Products Inc.の登録商標です。

その他、本文中に記載の社名や製品名は各社の商標または登録商標です。

## 警告

本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、改造は法律で禁じられています。

本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また半年から1年に1回は、電源アダプタをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本商品を移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。電源アダプタコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・故障の原因となります。

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異常音がしたり、キャビネットが異常に熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## 警告

本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

## 注意

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

電源アダプタを電源コンセント（AC100V）に差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

本商品や電源アダプタコードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源アダプタコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

電源アダプタコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。

**STOP** お願い

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

金属製家具などの近くは避けてください。

- 電波が飛びにくくなります。

周囲の環境（壁・家具など）によっては使用範囲が狭くなります。

硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなる場合があります。

本商品を積み重ねて使用しないでください。本商品を2台以上使用する場合、積み重ねて設置すると、内部に熱がこもり、キャビネットの表面が異常に熱くなることがあります。

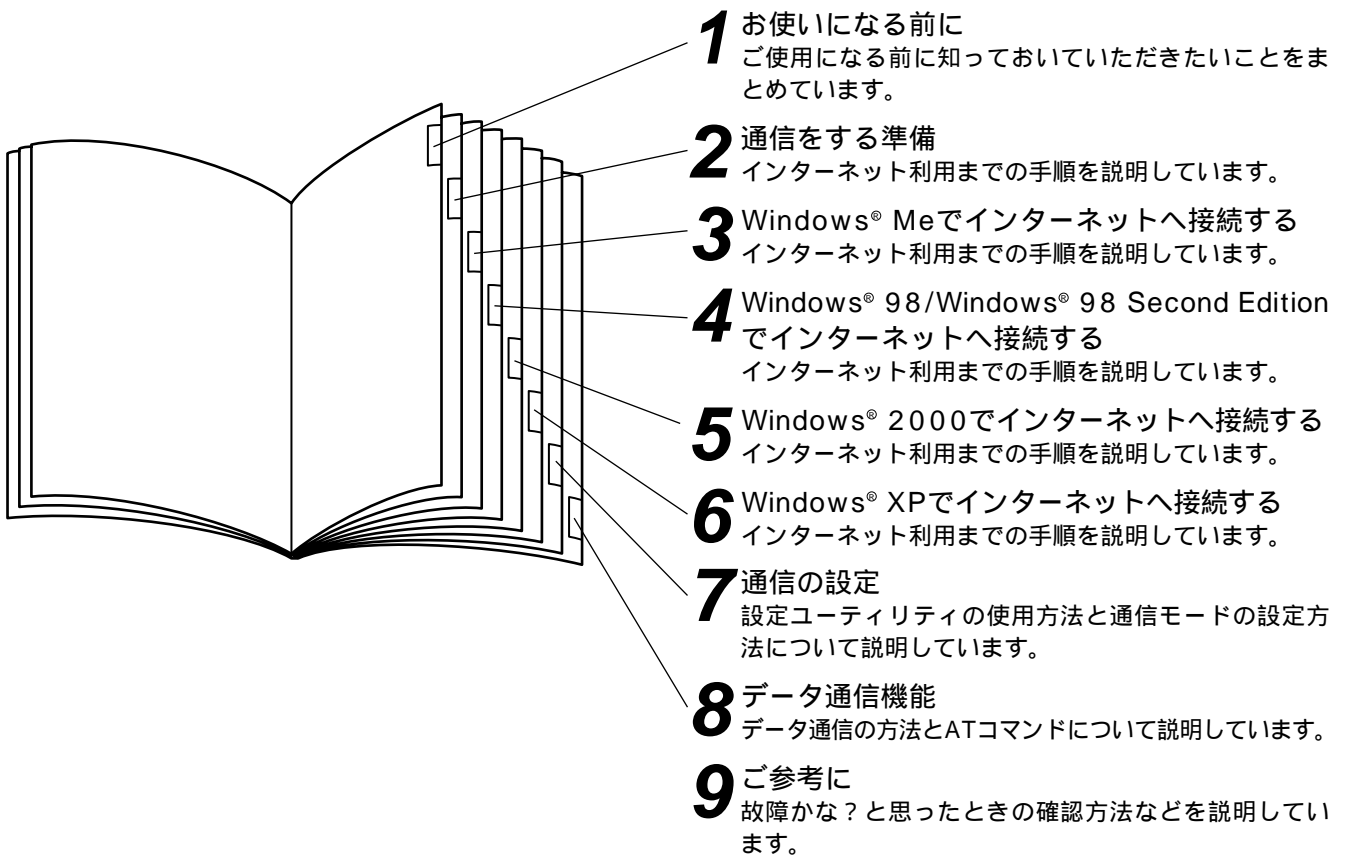
ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

コネクタに異物を差し込んだり、端子面をさわらないでください。故障の原因となることがあります。

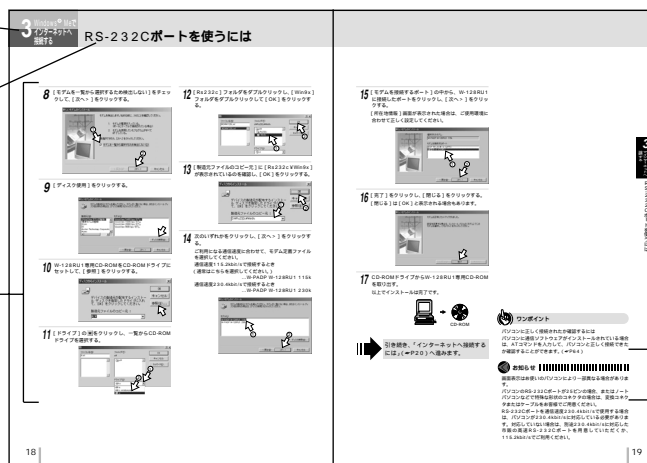
# この取扱説明書の見かた

## この取扱説明書の構成



## 操作説明のページの構成

- 章タイトル**  
章ごとにタイトルが付けられています。
- タイトル**  
目的ごとにタイトルが付けられています。
- 操作手順説明**  
順番に操作を説明します。



- ワンポイント**  
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。
- お知らせ**  
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください・・・2  
この取扱説明書の見かた・・・6

## 1 お使いになる前に

特長・・・8  
セットを確認してください・・・9  
各部の名前・・・10  
電源に接続します・・・11  
電波の状態を確認する・・・11

## 2 通信をする準備

インターネットへ接続するまでの手順・・・12  
ご使用のOSを確認するには・・・12

## 3 Windows® Meでインターネットへ接続する

USBポートを使うには・・・14  
パソコンと接続してUSBドライバと  
モデムドライバをインストールする・・・14  
RS-232Cポートを使うには・・・17  
パソコンと接続してモデム定義ファイルを  
インストールする・・・17  
インターネットへ接続するには・・・20  
接続先の設定を行う・・・20  
TCP/IPの設定を行う・・・22  
インターネットへ接続する・・・23

## 4 Windows® 98 / Windows® 98 Second Edition でインターネットへ接続する

USBポートを使うには・・・24  
パソコンと接続してUSBドライバと  
モデムドライバをインストールする  
(Windows® 98 Second Editionのみ)・・・24  
RS-232Cポートを使うには・・・27  
パソコンと接続してモデム定義ファイルを  
インストールする・・・27  
必要なソフトウェアをインストールするには・・・30  
ダイアルアップネットワークを  
インストールする・・・30  
TCP/IPをインストールする・・・31  
インターネットへ接続するには・・・32  
接続先の設定を行う・・・32  
TCP/IPの設定を行う・・・34  
インターネットへ接続する・・・35

## 5 Windows® 2000でインターネットへ接続する

USBポートを使うには・・・36  
パソコンと接続してモデムドライバを  
インストールする・・・36  
RS-232Cポートを使うには・・・38

パソコンと接続してモデム定義ファイルを  
インストールする・・・38  
インターネットへ接続するには・・・41  
接続先の設定を行う・・・41  
TCP/IPの設定を行う・・・43  
インターネットへ接続する・・・44

## 6 Windows® XPでインターネットへ接続する

USBポートを使うには・・・46  
パソコンと接続してモデムドライバを  
インストールする・・・46  
RS-232Cポートを使うには・・・48  
パソコンと接続してモデム定義ファイルを  
インストールする・・・48  
インターネットへ接続するには・・・51  
接続先の設定を行う・・・51  
TCP/IPの設定を行う・・・53  
インターネットへ接続する・・・54

## 7 通信の設定

設定ユーティリティをインストールするには・・・56  
Windows® Me / Windows® 98 /  
Windows® 98 Second Edition /  
Windows® 2000 / Windows® XP  
共通・・・56  
通信モードを設定するには・・・57  
各通信モードを利用するための機能設定・・・57  
機能設定の変更を行う・・・58  
本商品のバージョンアップを行うには・・・59

## 8 データ通信機能

データ通信を行うには・・・61  
発信する・・・61  
着信を受ける・・・61  
通信を終了する・・・61  
ATコマンド形式・・・62  
コマンド形式・・・62  
リザルトコード・・・62  
レジスタ・・・63  
コマンドモードとオンラインモード・・・63  
ATコマンドを入力するには・・・64  
ATコマンド詳細・・・65

## 9 ご参考に

インターネットにうまく接続できないときは・・・68  
故障かな?と思ったら・・・69  
USBポートに関するQ&A・・・70  
128K利用に関するQ&A・・・72  
索引・・・73  
仕様・・・74  
保守サービスのご案内・・・75

1  
お使いに  
なる前に

2  
通信をする  
準備

3  
Windows® Me  
でインターネットへ  
接続する

4  
Windows® 98 /  
Windows® 98 Second  
Edition  
でインターネットへ  
接続する

5  
Windows®  
2000  
でインターネット  
へ接続する

6  
Windows® XP  
でインターネットへ  
接続する

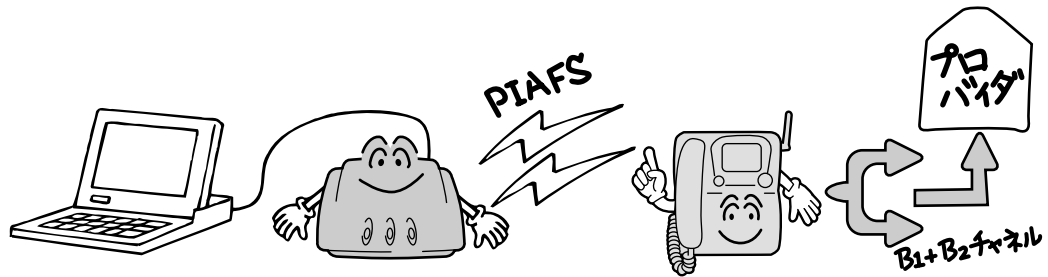
7  
通信の設定

8  
データ通信  
機能

9  
ご参考に

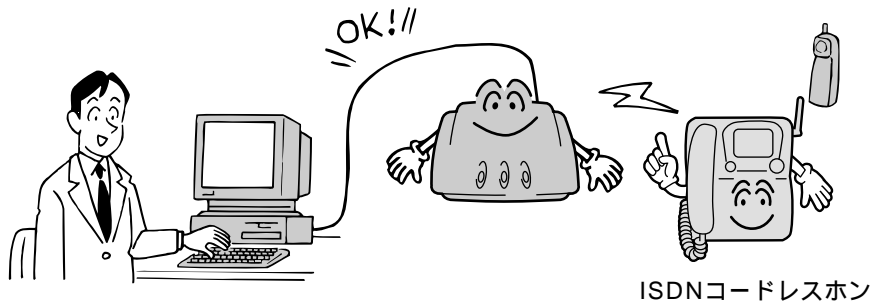
**最高128 kbit/sの通信速度でのデータ通信が可能**

無線区間は、64 kbit/sの通信リンクを2つ束ね、ISDN回線では2本のBチャンネルを束ねることによって最高128 kbit/sのマルチリンクPPP通信が行えます。また、回線の状態に応じて無線通信リンク及びBチャンネルの数を自動的に切り替えるBOD（バンド・オン・デマンド）機能を装備しています。



**ISDNコードレスホンを通じてINSネット64回線に接続**

本商品をISDNコードレスホンに増設登録し、無線接続すると、INSネット64回線を使ってデータ通信を行うことができます。



**電波の強さや装置の状態をランプで表示**

電波の強さをランプで確認できるので、データ通信が可能かどうか一目でわかります。また、圏外/圏内、発着信中、通信中などの状態や現在の通信速度も、ランプの色で識別できます。（←P10、11）



**ワンポイント**

PIAFSとは  
PHSインターネットアクセスフォーラムスタンダードの略称でPHSを用いたデータ通信手段のことです。

マルチリンクPPP通信を行う場合は  
お買い求め時は、マルチリンクPPP通信やBODを行わない設定になっています。設定を変更して使用してください。（←P57）

**お知らせ**

ISDNコードレスホンに接続して使用するときには、増設登録が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

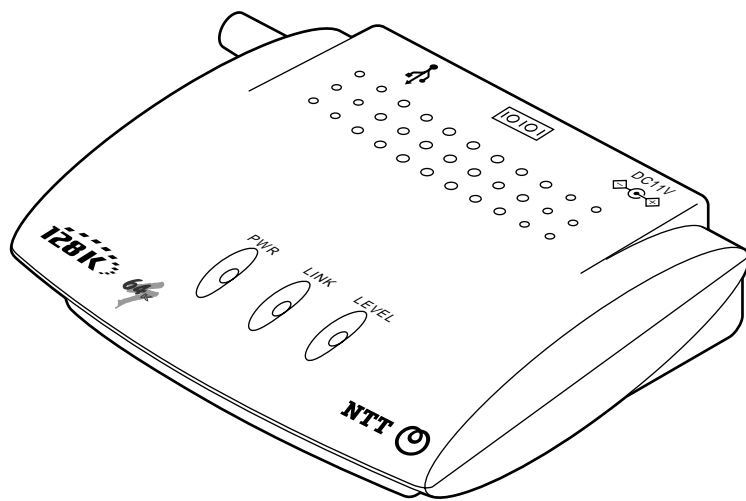
マルチリンクPPP通信を行うには、接続するインターネットプロバイダのアクセスポイントがマルチリンクPPP通信に対応している必要があります。詳細は、加入するインターネットプロバイダへお問い合わせください。



# セットを確認してください

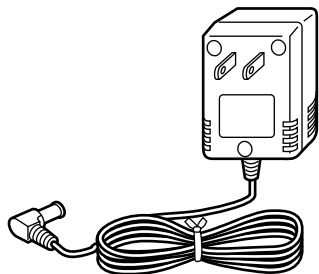
セットを確認してください  
特長

## 本体

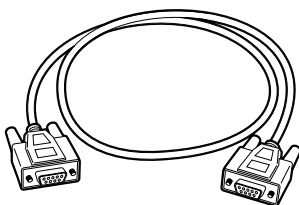


W-128RU1 (1台)

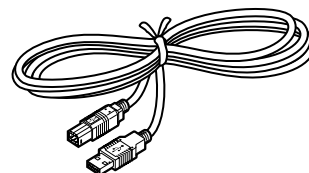
## 付属品



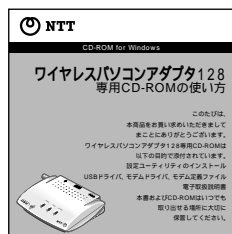
電源アダプタ(1個)  
(コード約1.8 m)



RS-232Cケーブル(1本)  
(約1.5 m)



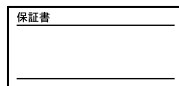
USBケーブル(1本)  
(約1.5 m)



W-128RU1専用CD-ROM (1枚)  
専用CD-ROMの使い方 (1部)



取扱説明書 (1部)



保証書 (1枚)

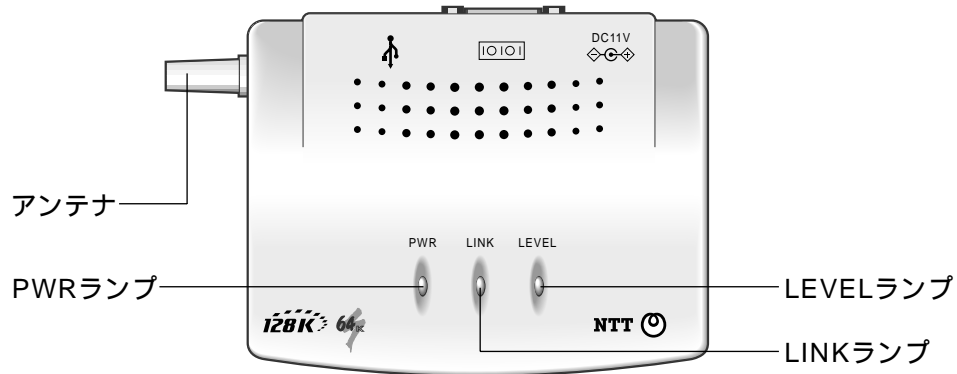


「NTT通信機器  
お取扱相談センター」シール (1枚)

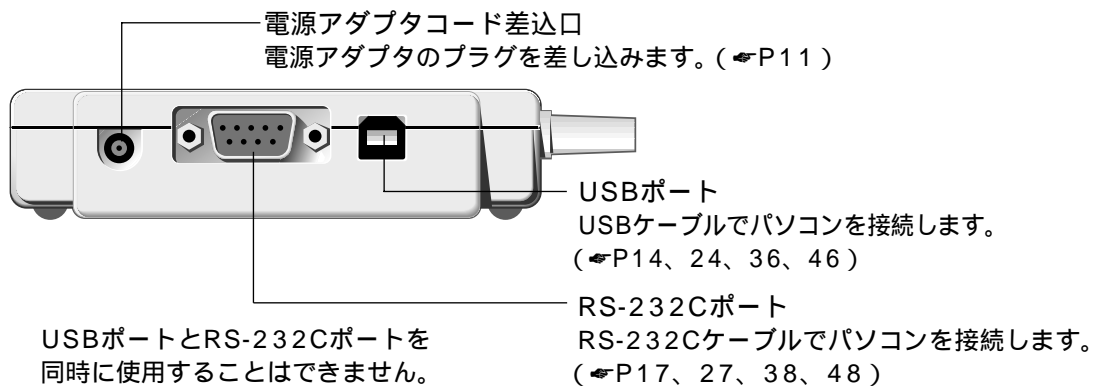
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

# 各部の名前

## 【上面】



## 【背面】



## 【ランプ表示】

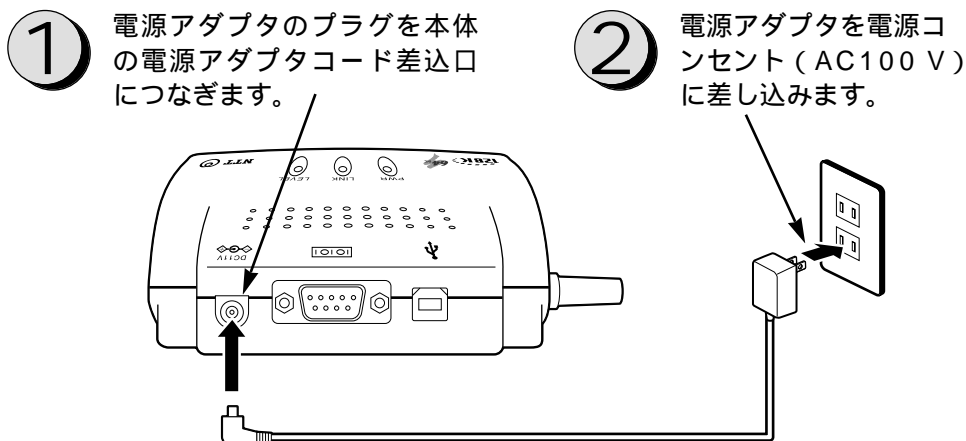
ランプの種類	ランプの状態(色)	本商品の状態
PWRランプ	点灯(緑)	電源が入っているとき
LINKランプ	無点灯	待機中のとき
	点灯(赤)	発信中のとき / 着信中のとき
	点灯(オレンジ)	32 kbit/sで通信中のとき
	点灯(緑)	64 kbit/sで通信中のとき
	点滅(緑)	128 kbit/sで通信中のとき
LEVELランプ	点滅(赤または緑)	主電話機などに増設登録されていないとき
	無点灯	圏外のとき
	点灯(緑)	電波が強いとき
	点灯(オレンジ)	電波が弱いとき
	点灯(赤)	電波が弱く、通信不可のとき
	点滅(赤または緑)	主電話機などに増設登録されていないとき

### お知らせ

電源を入れて10秒程度したのち、LINKランプとLEVELランプが緑点滅します。さらに、しばらくしてLINKランプとLEVELランプが赤点滅する場合は、主電話機などへ増設登録が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

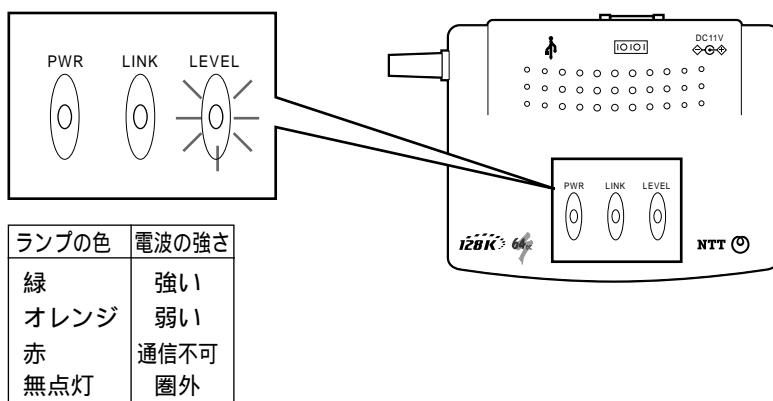
# 電源に接続します

本商品を電源に接続します。パソコンにはまだ接続しないでください。



## 電波の状態を確認する

電波の届く範囲は、主電話機などから見通し距離で約100 m以内です。データ通信を行うときは、LEVELランプが緑またはオレンジの状態のときに行ってください。電波の状態が悪いときはエラーが多発し、データ通信が停止することがあります。待ち受け時には、LEVELランプの色で電波の状態を確認してください。



### お知らせ

電波状態の悪いところでお使いの場合は、100 m以内でも通信ができないことがあります。接続したいパソコンからなるべく離して設置してください。近づけると誤動作の原因となります。パソコンのUSBポートに接続した場合でも電源アダプタを接続してお使いください。パソコンのUSBポートからの給電のみでは動作しません。

## インターネットへ接続するまでの手順

インターネットに接続する細かな手順は接続するパソコンのOSや、使用するデータポート（USBポートまたはRS-232Cポート）によって異なります。下の表でパソコンのOSと使用するデータポートを確認し、パソコンの接続とソフトウェアのインストールに進んでください。

パソコンのOS	使用するデータポート	参照ページ	
		パソコン接続とインストール	インターネットへの接続
Windows® Me	USBポート	☞P14～16	☞P20～23
	RS-232Cポート	☞P17～19	
Windows® 98	RS-232Cポート（USBポートは使用できません）	☞P27～29	☞P32～35
Windows® 98 Second Edition	USBポート	☞P24～26	☞P32～35
	RS-232Cポート	☞P27～29	
Windows® 2000	USBポート	☞P36～37	☞P41～45
	RS-232Cポート	☞P38～40	
Windows® XP	USBポート	☞P46～47	☞P51～55
	RS-232Cポート	☞P48～50	

### ご使用のOSを確認するには

使用しているパソコンのOSがわからない場合は、次の手順で確認してください。

Windows® Me、Windows® 98、Windows® 2000、Windows® XP共通

デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンを右クリックする。

ショートカットメニューの [プロパティ] をクリックする。

[システムのプロパティ] 画面の [全般] ([全般] が無い場合は [情報]) で、バージョンを確認する。

Windows® XPでデスクトップに [マイコンピュータ] アイコンがない場合

[スタート] ボタンをクリックする。

[マイコンピュータ] 上で右クリックして、[プロパティ] をクリックする。

Windows® 98のバージョンについて

Windows® 98には、Windows® 98とWindows® 98 Second Editionの2つのバージョンがあります。

Windows® 98 Second Edition



Windows® 98



### ワンポイント

RS-232CポートとUSBポートについて

本商品は2つのデータポートを装備していますが、USBポートとRS-232Cポートを同時に使用することはできません。

USBポートをご利用になるには

本商品のUSBポートに接続するパソコンは、以下の条件を備えている必要があります。

- ・ USBポートを備えているパソコンであること
- ・ 次のいずれかのOSがインストールされていること

Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 2000、Windows® XP

これらの条件を備えていても、パソコンによっては動作しない場合があります。(☞P70)

Windows® 98のバージョンについて

Windows® 98には、Windows® 98とWindows® 98 Second Editionの2つのバージョンがあります。Windows® 98 Second Editionでなければ、USBポートを利用することができません。

本商品を使ってインターネットに接続する一般的な手順は次のとおりです。



### プロバイダへ加入する

- インターネットサービスプロバイダ（プロバイダともいいます）は、インターネットへの接続業者です。インターネットに接続するには、プロバイダに加入する必要があります。
- プロバイダに加入すると、ユーザID、パスワード、DNSサーバのIPアドレス、アクセスポイントの電話番号などの情報が通知されます。
- 料金やアクセスポイント、マルチリンクPPP（MP）（☞P57）対応などを調べて、適したプロバイダを選択してください。詳細は、加入するプロバイダへお問い合わせください。



### パソコンを接続する

- 付属のケーブルで、本商品をパソコンに接続し、モデム定義ファイルのインストールなど、必要な設定を行います。Windows® Me（☞P14）Windows® 98 / Windows® 98 Second Edition（☞P24）Windows® 2000（☞P36）Windows® XP（☞P46）



### インターネットへ接続するための設定を行う

- インターネット接続に必要なソフトウェア（TCP/IPソフトウェア、PPPモジュール）がパソコンにインストールされているかどうかを確認します。必要なソフトウェアがない場合は、各ソフトウェアのCD-ROMなどからインストールします。
- プロバイダから通知された情報をもとに、インターネットへ接続するための設定を行います。Windows® Me（☞P20）Windows® 98 / Windows® 98 Second Edition（☞P32）Windows® 2000（☞P41）Windows® XP（☞P51）



### インターネットへ接続する

- INSネット64回線を使ってインターネットへ接続します。
- インターネットのさまざまなサービスを利用するには、各サービス用のソフトウェアが必要です。別途、ブラウザや電子メールソフトなどのソフトウェアをご用意ください。



### ワンポイント

インターネット利用に必要なソフトウェアの種類はTCP/IPソフトウェアやPPPモジュールのほかに、以下のソフトウェアが必要です。OSに付属しているソフトウェア以外の市販品、フリーウェアを利用することもできます。

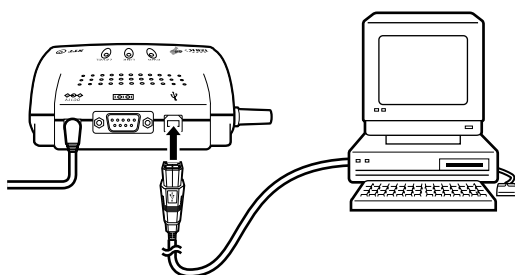
- ブラウザ...ホームページを見るためのソフトウェアです。代表的なブラウザとして、Internet Explorer、Netscape Navigatorがあります。
- 電子メールソフト...インターネットで電子メールを送信、受信するためのソフトウェアです。代表的なメールソフトとして、Outlook Express、Eudoraなどがあります。

# USBポートを使うには

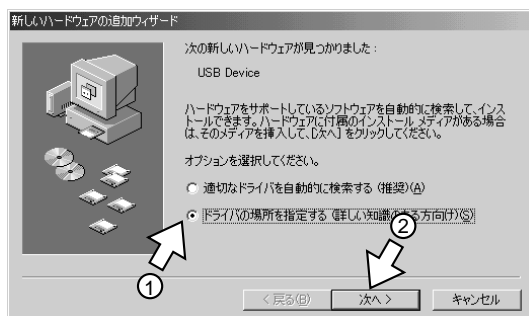
OSとしてWindows® Meを使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続して使うには、はじめに次の操作が必要です。付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

## パソコンと接続してUSBドライバとモデムドライバをインストールする

- 1 パソコンの電源を入れる。
- 2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続する。  
[新しいハードウェアの追加ウィザード] 画面が表示されます。

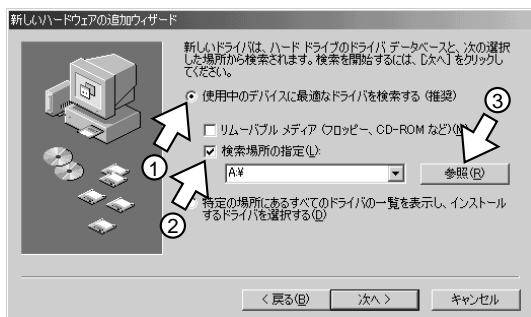


- 3 [ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)] をクリックし、[次へ>] をクリックする。

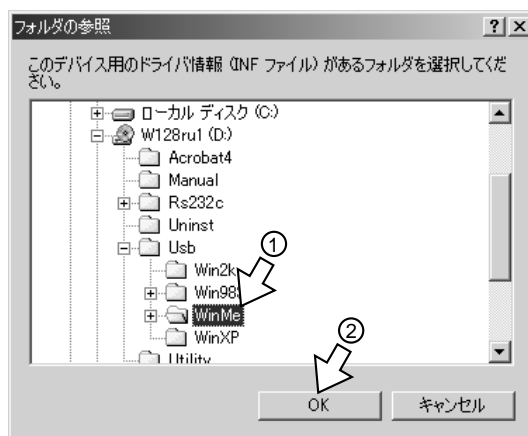


- 4 W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

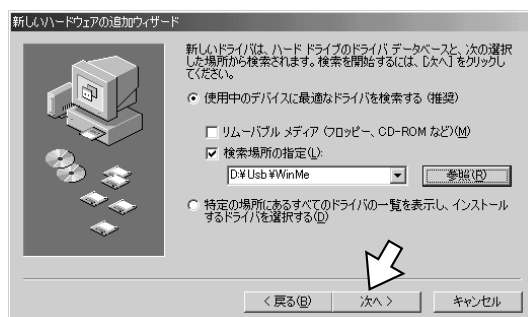
- 5 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、[検索場所の指定] のみをチェックして [参照] をクリックする。



- 6 W-128RU1専用CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブを指定し、[Usb] フォルダをダブルクリックして [WinMe] フォルダをクリックし、[OK] をクリックする。



- 7 [次へ>] をクリックする。



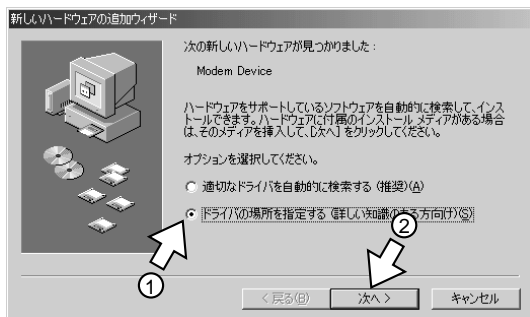
- 8 [NTTEAST-NTTWEST W-PADP W-128RU1] が表示されているのを確認し、[次へ>] をクリックする。



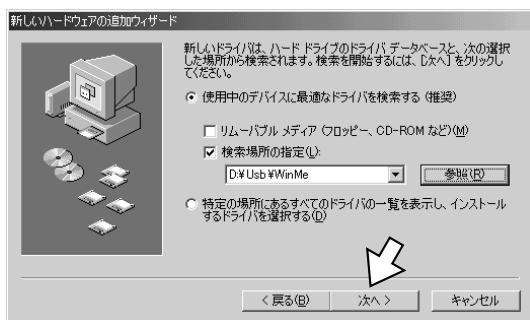
- 9 [完了]をクリックする。  
 モデムのインストールが自動的に開始され、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。



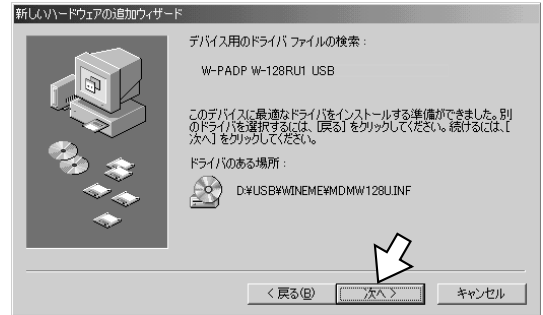
- 10 [ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)]をクリックし、[次へ>]をクリックする。



- 11 [次へ>]をクリックする。



- 12 [W-PADP W-128RU1 USB]が表示されているのを確認し、[次へ>]をクリックする。



- 13 [完了]をクリックする。



- 14 [スタート]ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル]をクリックする。

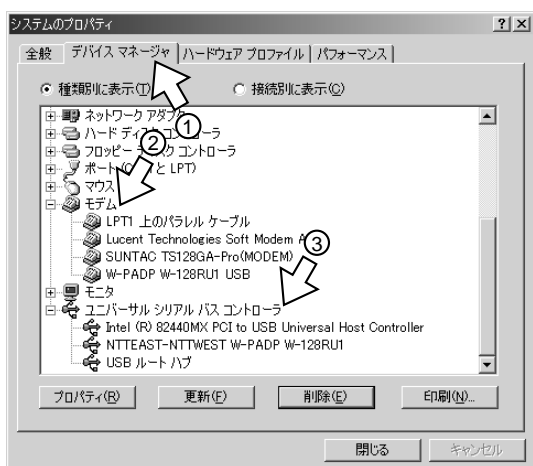
- 15 [システム]アイコンをダブルクリックする。



# USBポートを使うには

**16** [デバイスマネージャ] タブをクリックし、[モデム] の[+]と[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]の[+]をクリックして次の内容が表示されていることを確認する。

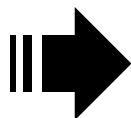
[モデム] 内に [W-PADP W-128RU1 USB]  
[ユニバーサル シリアル バス コントローラ] 内に  
[NTTEAST-NTTWEST W-PADP W-128RU1]



[モデム] および [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] の [W-PADP W-128RU1 USB] と [NTTEAST-NTTWEST W-PADP W-128RU1] に①が表示されたときは、「USBポートに関するQ&A」(←P70)をご覧ください。

**17** [キャンセル] をクリックし、CD-ROMドライブからW-128RU1専用CD-ROMを取り出す。

以上でUSBドライバとモデムドライバのインストールは完了です。



引き続き、「インターネットへ接続するには」(←P20)へ進みます。



## ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するには  
パソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(←P64)

USBケーブルを接続してもパソコンが本商品を認識しないときは

USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。  
それでも正しく認識しない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。



## お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

標準のUSBドライバが正しくインストールできない、ダイヤルアップ切断時にパソコンがフリーズするなどの事象が発生する場合は、オリジナルドライバをインストールしてください。詳しくは、「USBポートに関するQ&A」(←P71)を参照してください。

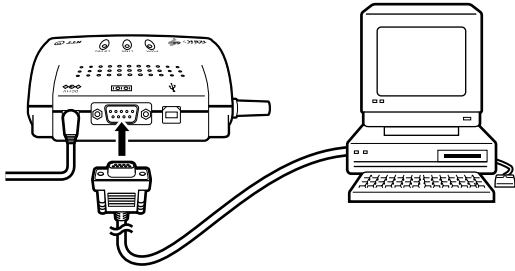


# RS-232Cポートを使うには

OSとしてWindows® Meを使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続して使うには、はじめに次の操作が必要です。付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

## パソコンと接続してモデム 定義ファイルをインストールする

- 1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。



- 2 パソコンの電源を入れる。

- 3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

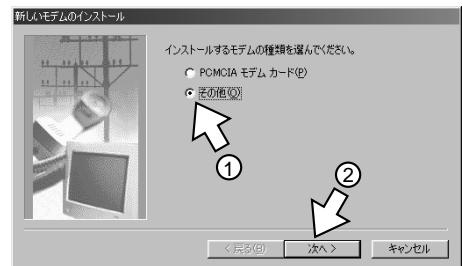
- 4 [モデム] アイコンをダブルクリックする。  
[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。これまでモデムがセットアップされていなかったときなどは、[モデムのプロパティ] 画面が表示されずに [新しいモデムのインストール] 画面が表示されますので、手順6へ進みます。



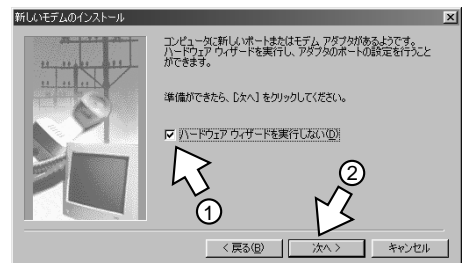
- 5 [追加] をクリックする。  
[新しいモデムのインストール] 画面が表示されます。



- 6 下の画面が表示された場合は、[その他] をクリックし、[次へ>] をクリックする。  
デスクトップパソコンの場合、下の画面が表示されずに手順7または手順8の画面が表示されることがあります。その場合は、表示された画面の手順へ進みます。



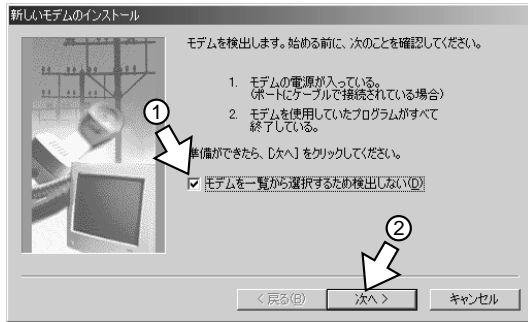
- 7 [ハードウェアウィザードを実行しない] をチェックし、[次へ>] をクリックする。  
ここで手順8の画面が表示された場合は、手順8に進みます。



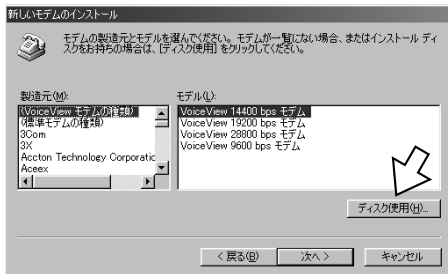
3 Windows® Meで  
インターネットへ  
接続する  
RS-232Cポートを使うには  
USBポートを使うには

# RS-232Cポートを使うには

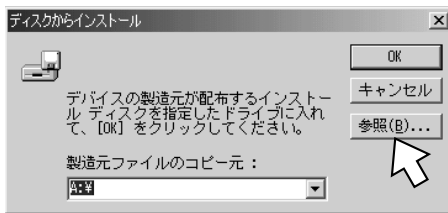
**8** [モデムを一覧から選択するため検出しない] をチェックして、[次へ>] をクリックする。



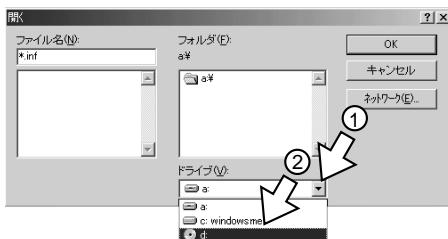
**9** [ディスク使用] をクリックする。



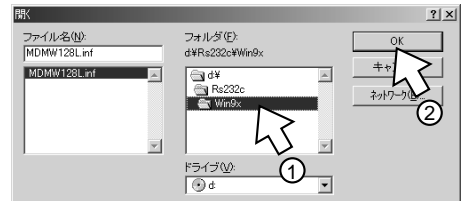
**10** W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、[参照] をクリックする。



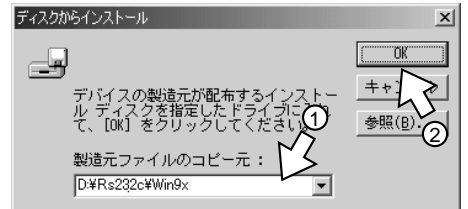
**11** [ドライブ] の ▾ をクリックし、一覧からCD-ROMドライブを選択する。



**12** [Rs232c] フォルダをダブルクリックし、[Win9x] フォルダをダブルクリックして[OK] をクリックする。



**13** [製造元ファイルのコピー元] に [Rs232c¥Win9x] が表示されているのを確認し、[OK] をクリックする。



**14** 次のいずれかをクリックし、[次へ>] をクリックする。

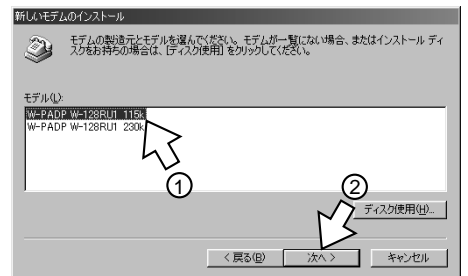
ご利用になる通信速度に合わせて、モデム定義ファイルを選択してください。

通信速度115.2kbit/sで接続するとき  
(通常はこちらを選択してください。)

...W-PADP W-128RU1 115k

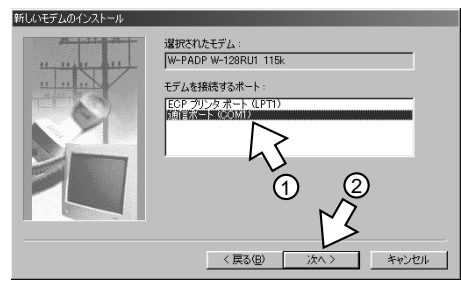
通信速度230.4kbit/sで接続するとき

...W-PADP W-128RU1 230k

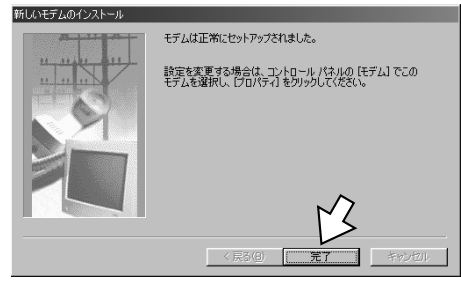


15 [モデムを接続するポート]の中から、W-128RU1に接続したポートをクリックし、[次へ>]をクリックする。

[所在地情報]画面が表示された場合は、ご使用環境に合わせて正しく設定してください。

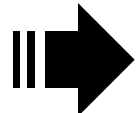
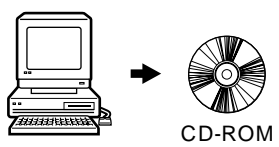


16 [完了]をクリックし、[閉じる]をクリックする。  
[閉じる]は[OK]と表示される場合もあります。



17 CD-ROMドライブからW-128RU1専用CD-ROMを取り出す。

以上でインストールは完了です。



引き続き、「インターネットへ接続するには」(P20)へ進みます。



ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するには、パソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P64)



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。  
パソコンのRS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。  
RS-232Cポートを通信速度230.4kbit/sで使用する場合は、パソコンが230.4kbit/sに対応している必要があります。対応していない場合は、別途230.4kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cポートを用意していただくか、115.2kbit/sでご利用ください。

# インターネットへ接続するには

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

## 接続先の設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントに接続するための情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、パスワード、アクセスポイントなどの情報が必要です。

**1** [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする。

**2** [新しい接続] アイコンをダブルクリックする。

**3** 「接続名」に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。

**4** 「モデムの選択」で選択するモデムをクリックし、[次へ>] をクリックする。

USBポートで接続した場合

...W-PADP W-128RU1 USB

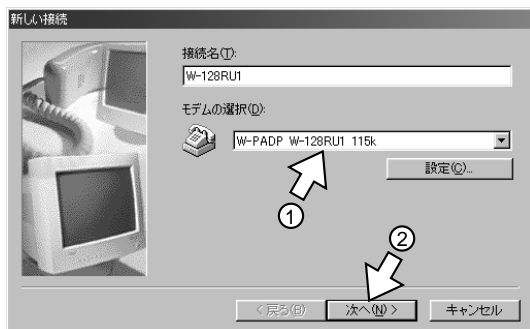
RS-232Cポートで接続した場合

通信速度115.2kbit/sで接続するとき

...W-PADP W-128RU1 115k

通信速度230.4kbit/sで接続するとき

...W-PADP W-128RU1 230k



**5** 接続先の電話番号を入力し、[次へ>] をクリックする。

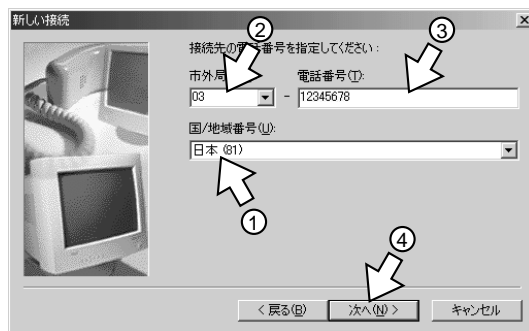
国番号.....プルダウンで[日本(81)] をクリックします。

市外局番...アクセスポイントの市外局番を入力します。  
電話番号...アクセスポイントの電話番号を入力します。

(注1)

注1：利用する通信速度は、設定ユーティリティで設定してください。(←P57)

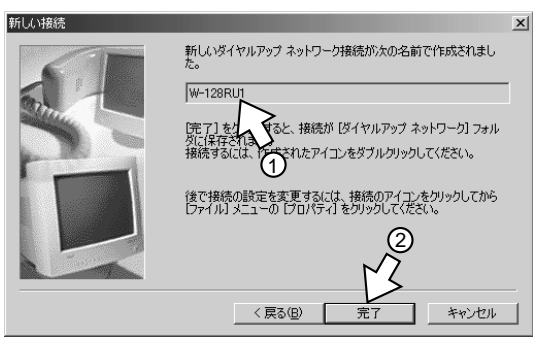
アクセスポイントの市外局番は、発信元と同じでも必ず入力してください。



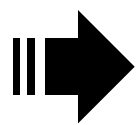
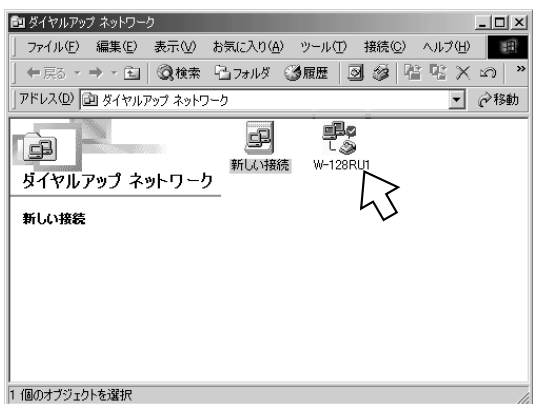
## ワンポイント

利用する通信速度の設定やその他の設定(BOD、フォールバック等)は、設定ユーティリティで行ってください。(←P57)

6 ダイヤルアップネットワークに作成されたアイコンの名前を確認し、[完了]をクリックする。



ダイヤルアップネットワークに、作成した接続のアイコン (W-128RU1) が表示されます。



引き続き、「TCP/IPの設定を行う」(P22)へ進みます。

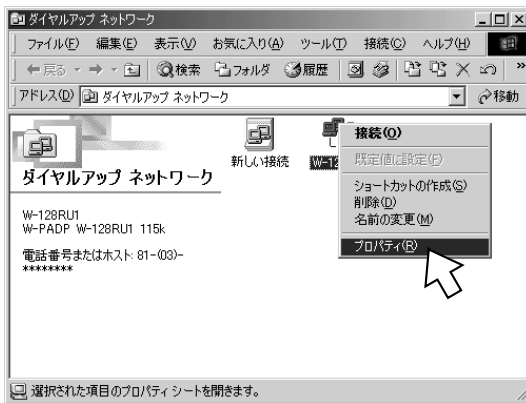
**お知らせ**

インターネットへの接続設定についての詳細は、各ソフトウェアメーカー、プロバイダにお問い合わせください。接続条件によっては、操作手順が異なる場合があります。

## TCP/IPの設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

- 1 「接続先の設定を行う」(☞P20)で作成したアイコンを右クリックし、ショートカットメニューの[プロパティ]をクリックする。



- 2 [ネットワーク] タブをクリックし、[詳細オプション]と[使用できるネットワークプロトコル]を設定し、[TCP/IP設定]をクリックする。  
[詳細オプション]の各項目のチェックはすべて外してください。  
[使用できるネットワークプロトコル]は[TCP/IP]のみチェックし、他のチェックは外してください。



- 3 TCP/IPの設定をし、[OK]をクリックする。  
[サーバが割り当てたIPアドレス]にチェックがあることを確認します。  
[ネームサーバーアドレスを指定する]をクリックし、プライマリDNSにプロバイダから通知されたドメインネームサーバのIPアドレスを入力してください。プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合は、[サーバが割り当てたネームサーバーアドレス]をクリックします。  
例：ドメインネームサーバのIPアドレスが「111.111.111.111」の場合  
[IPヘッダー圧縮を使う]のチェックを外します。



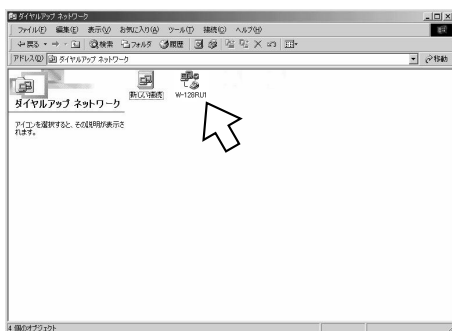
- 4 各画面で[OK]をクリックし、設定を完了する。

⇒ 設定が完了したら、「インターネットへ接続する」(☞P23)へ進みます。

## インターネットへ接続する

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。

- 1 [接続先の設定を行う]で作成したアイコンをダブルクリックする。



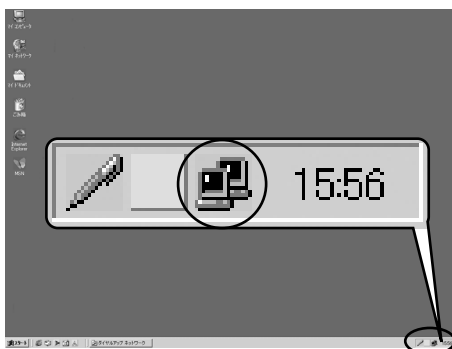
- 2 [ユーザー名] [パスワード]を入力し、[接続]をクリックする。



接続中の画面が表示されます。

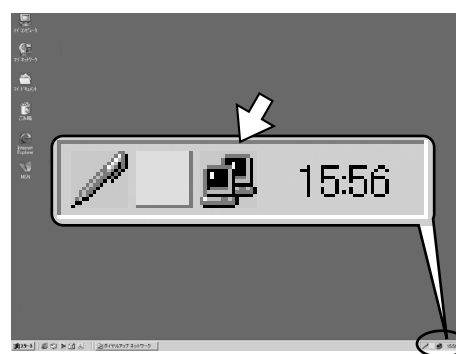


インターネット接続中は、画面右下に下のような接続アイコンが表示されます。

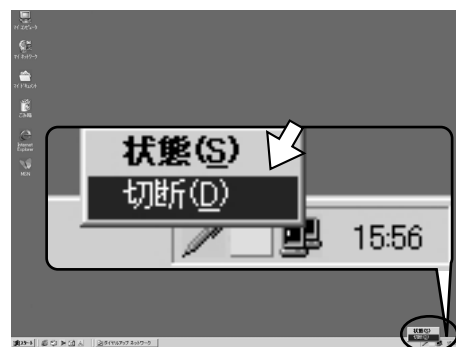


- 3 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。ブラウザはホームページを見るソフトウェアです。Windows®にはInternet Explorerというソフトウェアが付属しています。

- 4 インターネット接続を終了するときは、画面右下の[接続]アイコンを右クリックする。ショートカットメニューが表示されます。



- 5 [切断]をクリックする。回線が切断されます。「...への接続を終了しますか?」と表示された場合は、「今すぐ切断する」をクリックします。



## お知らせ

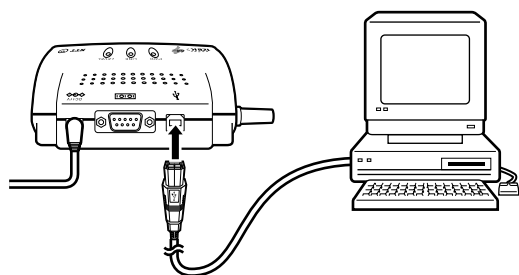
USBポート通信中に、USBケーブルを抜かないでください。パソコンによっては、動作が不安定になったり、フリーズしたりすることがあります。USBポート利用時には、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能を使用しないでください。USBポートを利用することにより、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能が働かない場合があります。

# USBポートを使うには

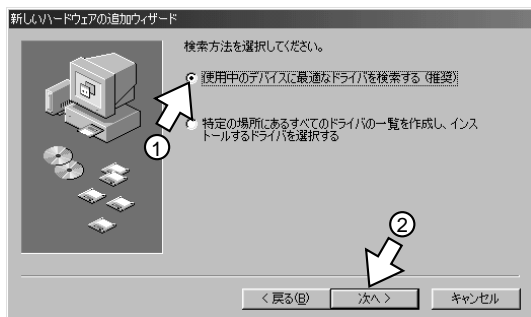
OSとしてWindows® 98 Second Editionを使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続して使うには、はじめに次の操作が必要です。  
付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

## パソコンと接続してUSBドライバとモデムドライバをインストールする (Windows® 98 Second Editionのみ)

- 1 パソコンの電源を入れる。
- 2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続する。  
[新しいハードウェアの追加ウィザード] 画面が表示されます。



- 3 [次へ>] をクリックし、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックして、[次へ>] をクリックする。



- 4 W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

- 5 [検索場所の指定] のみをチェックして [参照] をクリックする。



- 6 W-128RU1専用CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブを指定し、[Usb] フォルダをダブルクリックして [Win98SE] フォルダをクリックし、[OK] をクリックする。



- 7 [次へ>] をクリックする。



- 8 [更新されたドライバ (推奨)] をクリックし、[次へ>] をクリックする。





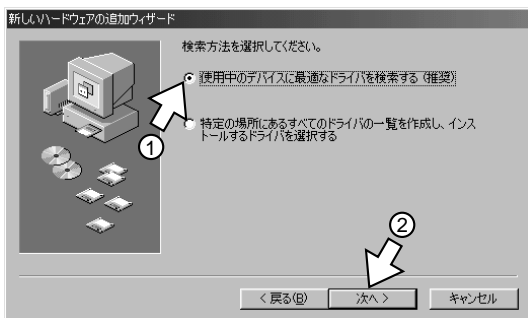
- 9 [ NTTEAST-NTTWEST W-PADP W-128RU1 ] が表示されているのを確認し、[ 次へ > ] をクリックする。



- 10 [ 完了 ] をクリックする。  
モデムのインストールが自動的に開始され、[ 新しいハードウェアの追加ウィザード ] 画面が表示されます。



- 11 [ 次へ > ] をクリックし、[ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨) ] をクリックして、[ 次へ > ] をクリックする。



- 12 [ 次へ > ] をクリックする。



- 13 [ W-PADP W-128RU1 USB ] が表示されているのを確認し、[ 次へ > ] をクリックする。



- 14 [ 完了 ] をクリックする。



- 15 [ スタート ] ボタンをクリックし、[ 設定 ] - [ コントロールパネル ] をクリックする。

4  
USBポートを使うには

# USBポートを使うには

16 [システム] アイコンをダブルクリックする。



17 [デバイスマネージャ] タブをクリックし、[モデム] の[+]と[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]の[+]をクリックして次の内容が表示されていることを確認する。

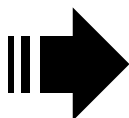
[モデム] 内に [W-PADP W-128RU1 USB]  
[ユニバーサル シリアル バス コントローラ] 内に  
[NTTEAST-NTTWEST W-PADP W-128RU1]



[モデム] および [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] の [W-PADP W-128RU1 USB] と [NTTEAST-NTTWEST W-PADP W-128RU1] に①が表示されたときは、「USBポートに関するQ&A」(P70)をご覧ください。

18 [キャンセル] をクリックし、CD-ROMドライブからW-128RU1専用CD-ROMを取り出す。

以上でUSBドライバとモデムドライバのインストールは完了です。



引き続き、「必要なソフトウェアをインストールするには」(P30)へ進みます。



## ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P64)

USBケーブルを接続してもパソコンが本商品を認識しないときは

USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。それでも正しく認識しない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。



## お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

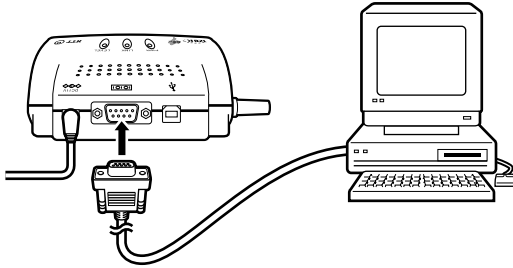
標準のUSBドライバが正しくインストールできない、ダイヤルアップ切断時にパソコンがフリーズするなどの事象が発生する場合は、オリジナルドライバをインストールしてください。詳しくは、「USBポートに関するQ&A」(P71)を参照してください。

# RS-232Cポートを使うには

OSとしてWindows® 98 / Windows® 98 Second Editionを使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続して使うには、はじめに次の操作が必要です。付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

## パソコンと接続してモデム定義ファイルをインストールする

1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。



2 パソコンの電源を入れる。

3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

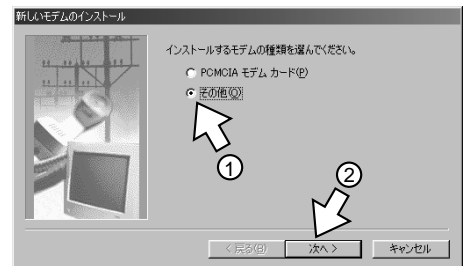
4 [モデム] アイコンをダブルクリックする。  
[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。これまでモデムがセットアップされていなかったときなどは、[モデムのプロパティ] 画面が表示されずに [新しいモデムのインストール] 画面が表示されますので、手順6へ進みます。



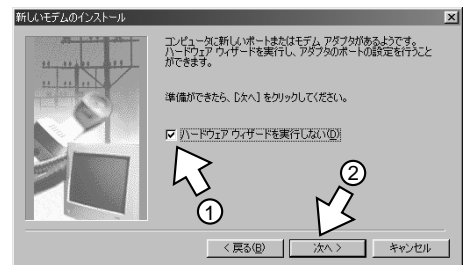
5 [追加] をクリックする。  
[新しいモデムのインストール] 画面が表示されます。



6 下の画面が表示された場合は、[その他] をクリックし、[次へ>] をクリックする。  
デスクトップパソコンの場合、下の画面が表示されずに手順7または手順8の画面が表示されることがあります。その場合は、表示された画面の手順へ進みます。



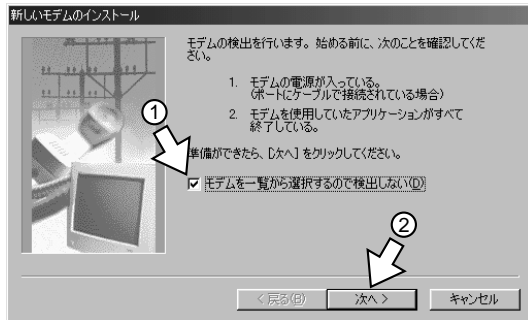
7 [ハードウェアウィザードを実行しない] をチェックし、[次へ>] をクリックする。  
ここで手順8の画面が表示された場合は、手順8に進みます。



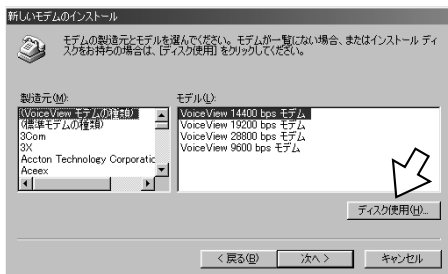
4 Windows® 98 / Windows® 98 Second Edition  
でインターネットへ接続する  
RS-232Cポートを使うには  
USBポートを使うには

# RS-232Cポートを使うには

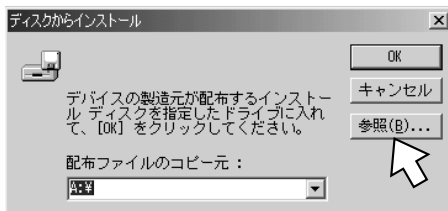
**8** [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして、[次へ>] をクリックする。



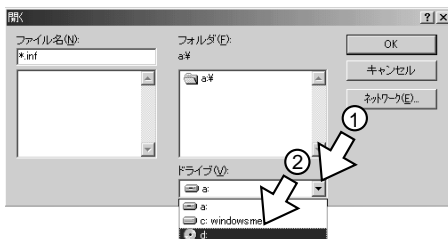
**9** [ディスク使用] をクリックする。



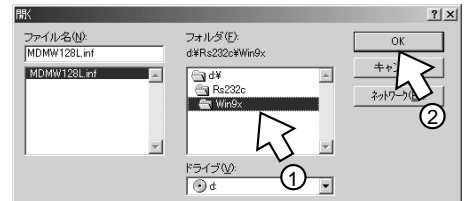
**10** W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、[参照] をクリックする。



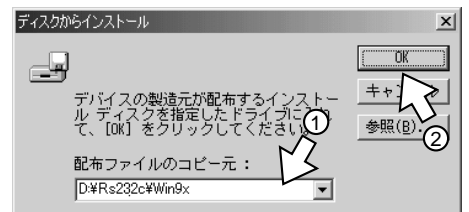
**11** [ドライブ] の ▾ をクリックし、一覧からCD-ROMドライブを選択する。



**12** [Rs232c] フォルダをダブルクリックし、[Win9x] フォルダをダブルクリックして[OK] をクリックする。



**13** [配布ファイルのコピー元] に [Rs232c¥Win9x] が表示されているのを確認し、[OK] をクリックする。



**14** 次のいずれかをクリックし、[次へ>] をクリックする。

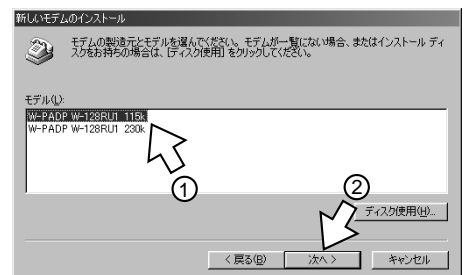
ご利用になる通信速度に合わせて、モデム定義ファイルを選択してください。

通信速度115.2kbit/sで接続するとき  
(通常はこちらを選択してください。)

...W-PADP W-128RU1 115k

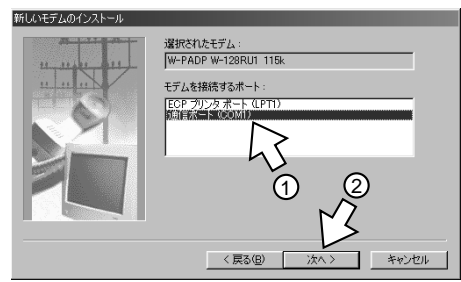
通信速度230.4kbit/sで接続するとき

...W-PADP W-128RU1 230k

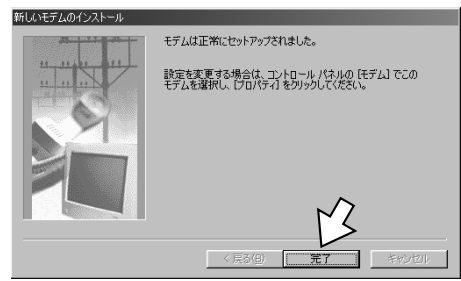


15 [モデムを接続するポート]の中から、W-128RU1に接続したポートをクリックし、[次へ>]をクリックする。

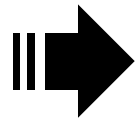
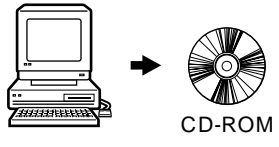
[所在地情報]画面が表示された場合は、ご使用環境に合わせて正しく設定してください。



16 [完了]をクリックし、[OK]をクリックする。  
 [OK]は[閉じる]と表示される場合もあります。



17 CD-ROMドライブからW-128RU1専用CD-ROMを取り出す。  
 以上でインストールは完了です。



引き続き、「必要なソフトウェアをインストールするには」(P30)へ進みます。

**ワンポイント**

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P64)

**お知らせ**

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。  
 パソコンのRS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。  
 RS-232Cポートを通信速度230.4kbit/sで使用する場合は、パソコンが230.4kbit/sに対応している必要があります。対応していない場合は、別途230.4kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cポートを用意していただくか、115.2kbit/sでご利用ください。

# 必要なソフトウェアをインストールするには

インターネットの接続に必要な「ダイヤルアップネットワーク」と「TCP/IP」がパソコンにインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合には、Windows®のCD-ROMからインストールします。

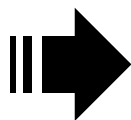
## ダイヤルアップネットワークをインストールする

ダイヤルアップネットワークは、あらかじめインストールされている場合があります。すでにインストールされていることが確認できた場合は、操作を中止します。また、インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面の指示に従って操作してください。

1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。



[ダイヤルアップネットワーク] アイコンがなかった場合は、手順2以降の操作を行います。

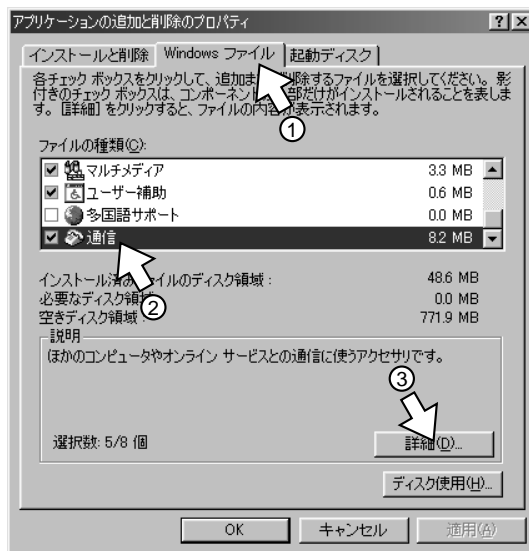


[ダイヤルアップネットワーク] アイコンがあった場合は、**X**をクリックしてウィンドウを閉じ、「TCP/IPをインストールする」(P31)へ進みます。

2 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

3 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックする。

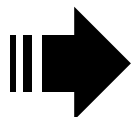
4 [Windowsファイル] タブをクリックし、[ファイルの種類] から [通信] をチェックして [詳細] をクリックする。



5 [ファイルの種類] の [ダイヤルアップネットワーク] をチェックし、[OK] をクリックする。



6 [OK] をクリックする。  
以上でインストールは完了です。  
インストールしたダイヤルアップネットワークはパソコンを再起動すると有効になります。



引き続き、「TCP/IPをインストールする」(P31)へ進みます。

## TCP/IPをインストールする

TCP/IPは、あらかじめインストールされている場合があります。すでにインストールされていることが確認できた場合は、操作を中止します。また、インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面の指示に従って操作してください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[ネットワーク] ダイアログボックスの [現在のネットワークコンポーネント] の一覧に [TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ] があるかどうかを確認する。

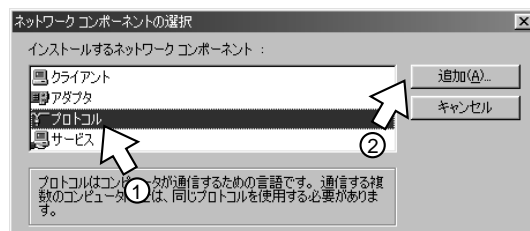


[TCP/IP...] がなかった場合は、手順3以降の操作を行います。

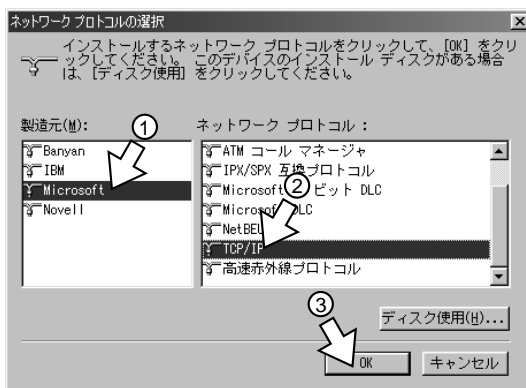
⇒ [TCP/IP...] がある場合は、[キャンセル] をクリックして「インターネットへ接続するには」(P32) へ進みます。

3 [追加] をクリックする。

4 [インストールするネットワークコンポーネント] の中の [プロトコル] をクリックし、[追加] をクリックする。



5 [製造元] 中の [Microsoft] と [ネットワークプロトコル] 中の [TCP/IP] をクリックし、[OK] をクリックする。



6 [OK] をクリックする。

Windows® 98のCD-ROMを要求された場合は、画面の指示に従ってください。以上でインストールは完了です。インストールしたTCP/IPはパソコンを再起動すると有効になります。

⇒ インストールが完了したら「インターネットへ接続するには」(P32) へ進みます。



### お知らせ

ここではインストール方法の一例を紹介しています。詳細については、パソコンメーカー、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

# インターネットへ接続するには

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

## 接続先の設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントに接続するための情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、パスワード、アクセスポイントなどの情報が必要です。

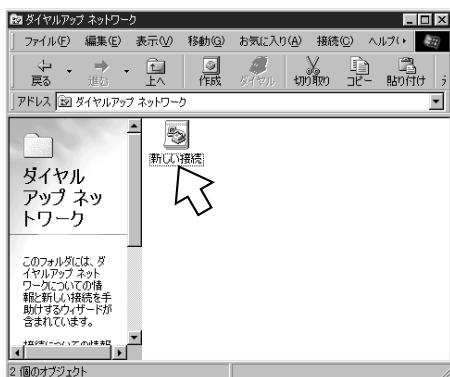
1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。



2 [ダイヤルアップネットワーク] アイコンをダブルクリックする。



3 [新しい接続] アイコンをダブルクリックする。「ダイヤルアップネットワークへようこそ」の画面が表示されたときは、[次へ>] をクリックします。



4 [接続名] に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。

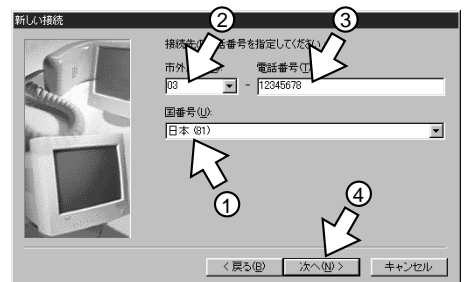
5 [モデムの選択] で選択するモデムをクリックし、[次へ>] をクリックする。

- ・ USBポートで接続した場合  
...W-PADP W-128RU1 USB
- ・ RS-232Cポートで接続した場合  
通信速度115.2kbit/sで接続するとき  
...W-PADP W-128RU1 115k  
通信速度230.4kbit/sで接続するとき  
...W-PADP W-128RU1 230k



6 接続先の電話番号を入力し、[次へ>] をクリックする。国番号.....プルダウンで [日本(81)] をクリックします。市外局番...アクセスポイントの市外局番を入力します。電話番号...アクセスポイントの電話番号を入力します。(注1)

注1：利用する通信速度は、設定ユーティリティで設定してください。(P57)  
アクセスポイントの市外局番は、発信元と同じでも必ず入力してください。

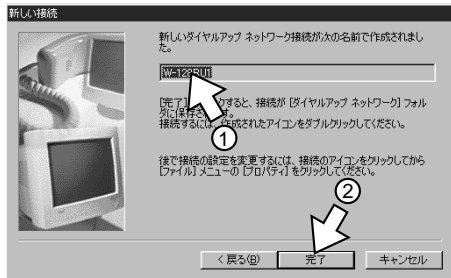


## ワンポイント

利用する通信速度の設定やその他の設定 (BOD、フォールバック等) は、設定ユーティリティで行ってください。(P57)



**7** ダイヤルアップネットワークに作成されたアイコンの名前を確認し、[完了]をクリックする。



ダイヤルアップネットワークに、作成した接続のアイコン (W-128RU1) が表示されます。



引き続き、「TCP/IPの設定を行う」(P34)へ進みます。

**お知らせ**

インターネットへの接続設定についての詳細は、各ソフトウェアメーカ、プロバイダにお問い合わせください。接続条件によっては、操作手順が異なる場合があります。

# インターネットへ接続するには

## TCP/IPの設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

- 1 「接続先の設定を行う」(P32)で作成したアイコンを右クリックし、ショートカットメニューの[プロパティ]をクリックする。



- 2 [サーバーの種類]タブをクリックし、[詳細オプション]と[使用できるネットワークプロトコル]を設定し、[TCP/IP設定]をクリックする。

[詳細オプション]の各項目のチェックはすべて外してください。  
[使用できるネットワークプロトコル]は[TCP/IP]のみチェックし、他のチェックは外してください。



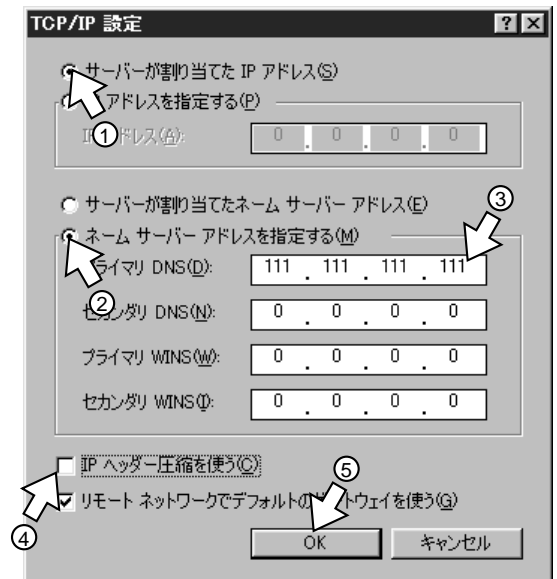
- 3 TCP/IPの設定をし、[OK]をクリックする。

[サーバーが割り当てたIPアドレス]にチェックがあることを確認します。

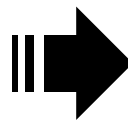
[ネームサーバーアドレスを指定する]をクリックし、プライマリDNSにプロバイダから通知されたドメインネームサーバのIPアドレスを入力してください。プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合は、[サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス]をクリックします。

例：ドメインネームサーバのIPアドレスが「111.111.111.111」の場合

[IPヘッダー圧縮を使う]のチェックを外します。



- 4 各画面で[OK]をクリックし、設定を完了する。

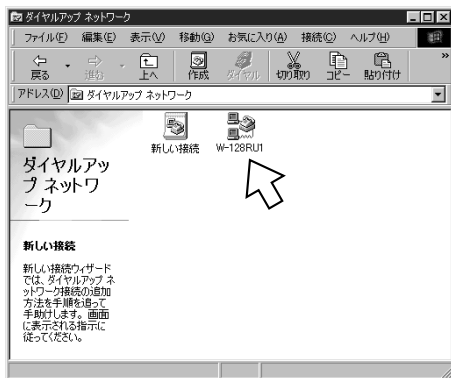


設定が完了したら、「インターネットへ接続する」(P35)へ進みます。

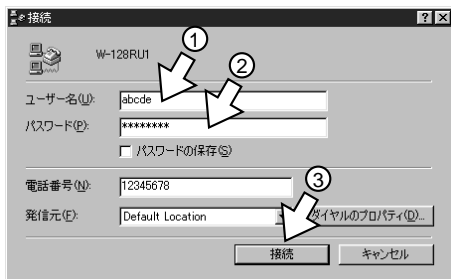
## インターネットへ接続する

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。

- 1 [接続先の設定を行う]で作成したアイコンをダブルクリックする。



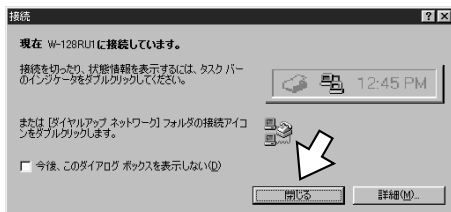
- 2 [ユーザー名] [パスワード]を入力し、[接続]をクリックする。



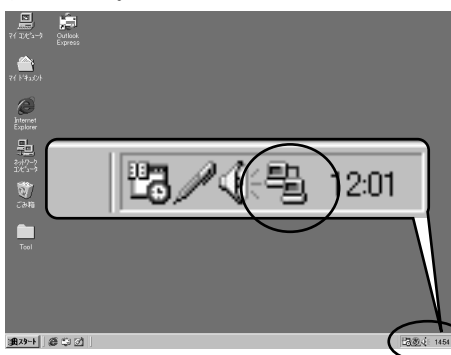
接続中の画面が表示されます。



接続が完了した際に、下のように表示された場合は、[閉じる]をクリックします。

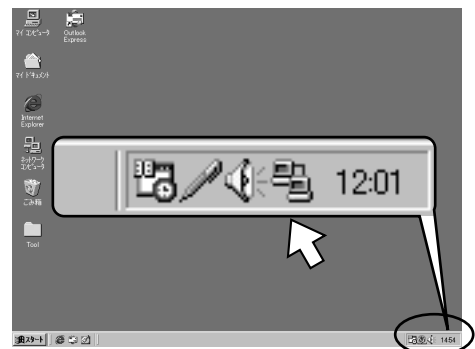


インターネット接続中は、画面右下に下のような接続アイコンが表示されます。



- 3 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。ブラウザはホームページを見るソフトウェアです。Windows®にはInternet Explorerというソフトウェアが付属しています。

- 4 インターネット接続を終了するときは、画面右下の [接続] アイコンを右クリックする。ショートカットメニューが表示されます。



- 5 [切断] をクリックする。回線が切断されます。



4  
インターネット接続  
の  
操  
作  
を  
参  
照  
し  
て  
く  
だ  
さ  
い

インターネットへ接続するには

## お知らせ

USBポート通信中に、USBケーブルを抜かないでください。パソコンによっては、動作が不安定になったり、フリーズしたりすることがあります。USBポート利用時には、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能を使用しないでください。USBポートを利用することにより、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能が働かない場合があります。

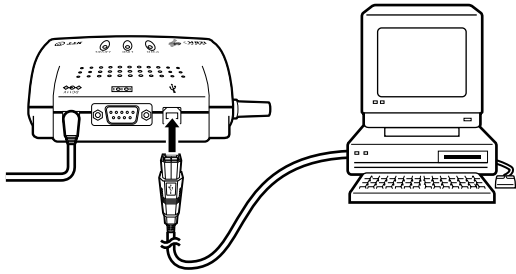
# USBポートを使うには

OSとしてWindows® 2000を使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続して使うには、はじめに次の操作が必要です。付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

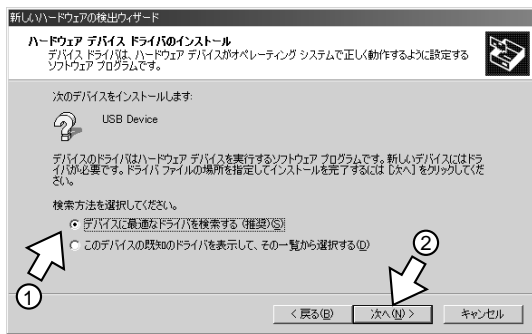
## パソコンと接続して モデムドライバをインストールする

1 パソコンの電源を入れる。

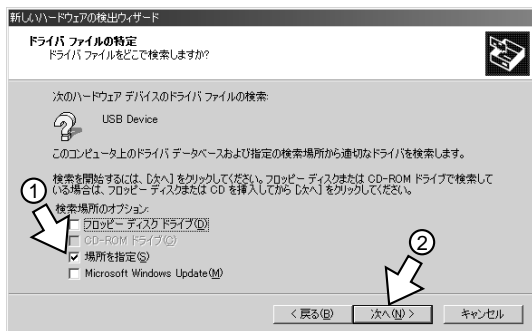
2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続する。  
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。



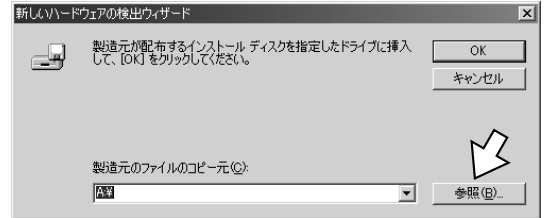
3 [次へ>] をクリックし、[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



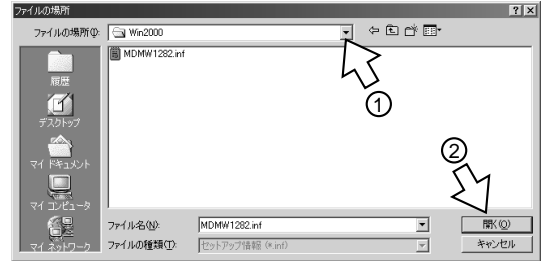
4 [場所を指定] のみをチェックし、[次へ>] をクリックする。



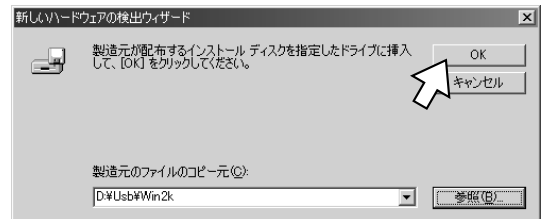
5 W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[参照] をクリックする。



6 [ファイルの場所] の▼をクリックし、一覧からCD-ROMドライブを選択する。さらに[Usb]フォルダをダブルクリックし、[Win2k]フォルダをダブルクリックし、[開く] をクリックする。



7 [OK] をクリックする。



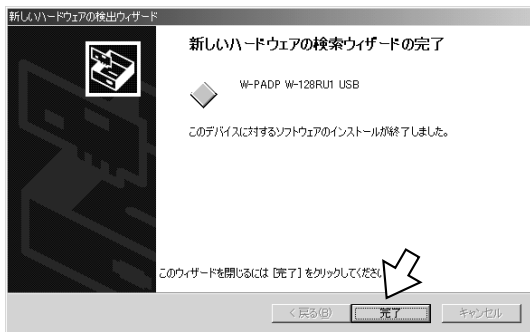
8 [次へ>] をクリックする。



9 [W-PADP W-128RU1 USB]が表示されていることを確認し、[はい]をクリックする。



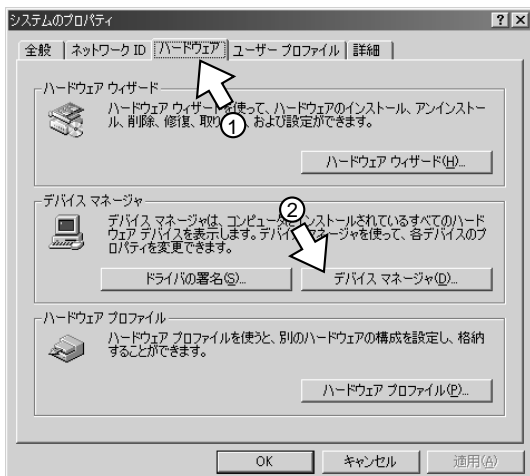
10 [完了]をクリックする。



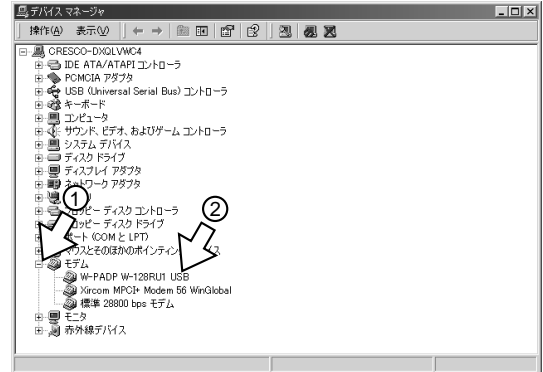
11 [スタート]ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル]をクリックする。

12 [システム]アイコンをダブルクリックする。

13 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする。

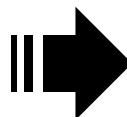


14 [モデム]の[+]をクリックし、[W-PADP W-128RU1 USB]が表示されていることを確認する。



[モデム]の[W-PADP W-128RU1 USB]に①が表示されたときは、「USBポートに関するQ & A」(P71)をご覧ください。

15 各画面で[X]をクリックし、CD-ROMドライブからW-128RU1専用CD-ROMを取り出す。以上でモデムドライバのインストールは完了です。



引き続き、「インターネットへ接続するには」(P41)へ進みます。

5  
ネットへ接続する  
Windows  
2000/XP/NT

USBポートを使用するには



### ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P64)

USBケーブルを接続してもパソコンが本商品をお認識しないときはUSBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。それでも正しくお認識しない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。



### お知らせ

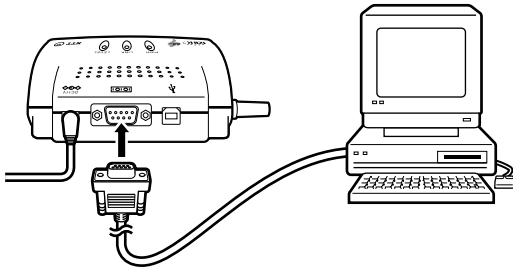
画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

# RS-232Cポートを使うには

OSとしてWindows® 2000を使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続して使うには、はじめに次の操作が必要です。付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

## パソコンと接続してモデム定義 ファイルをインストールする

1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。



2 パソコンの電源を入れる。

3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

4 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックする。

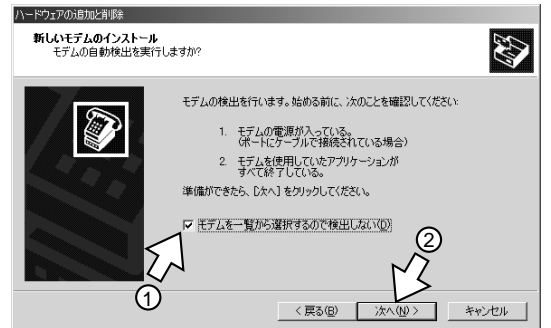
[所在地情報] が表示された場合は、[市外局番/エリアコード] に市外局番を入力し、[OK] をクリックします。



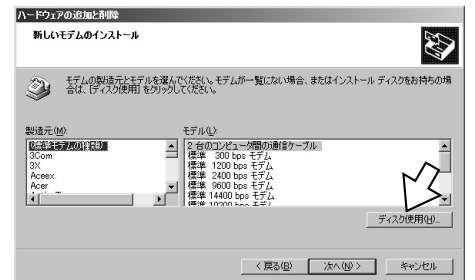
5 [モデム] タブをクリックし、[追加] をクリックする。



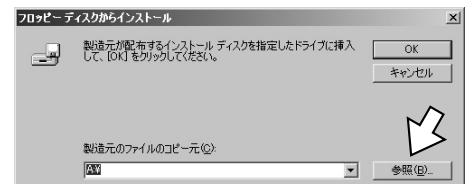
6 [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして [次へ>] をクリックする。



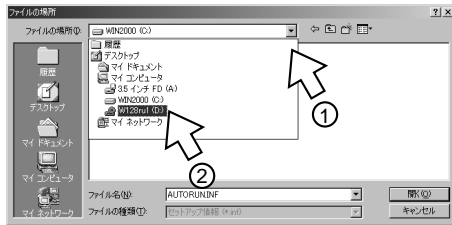
7 [ディスク使用] をクリックする。



8 W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、[参照] をクリックする。



**9** [ファイルの場所] の▼をクリックし、一覧からCD-ROMドライブを選択する。



**10** [Rs232c] フォルダをダブルクリックし、[Win2k] フォルダをダブルクリックして[開く]をクリックする。



**11** [製造元のファイルのコピー元] に [Rs232c ¥ Win2k] が表示されていることを確認し、[OK] をクリックする。



**12** 次のいずれかをクリックし、[次へ>] をクリックする。

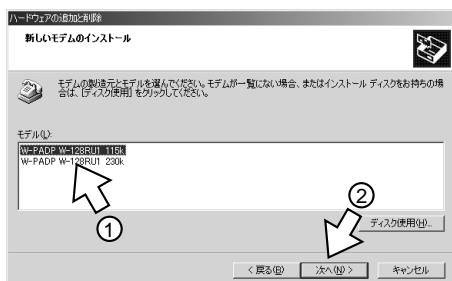
ご利用になる通信速度に合わせて、モデム定義ファイルを選択してください。

通信速度115.2kbit/sで接続するとき  
(通常はこちらで選択してください。)

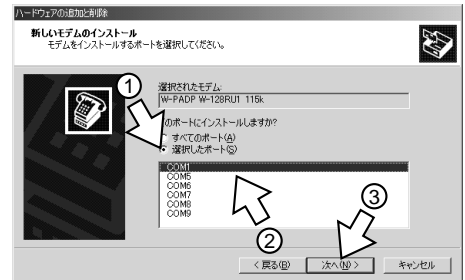
...W-PADP W-128RU1 115k

通信速度230.4kbit/sで接続するとき

...W-PADP W-128RU1 230k

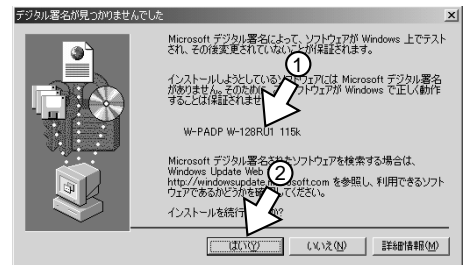


**13** [選択したポート] をチェックし、インストールするCOMポートを選択し、[次へ>] をクリックする。

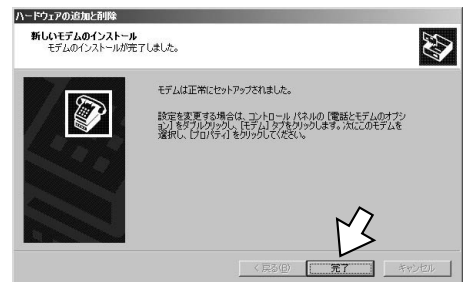


**14** 選択したモデム名が表示されていることを確認し、[はい] をクリックする。

[所在地情報] 画面が表示された場合はご使用に合わせて正しく設定し、[次へ>] をクリックしてください。



**15** [完了] をクリックする。

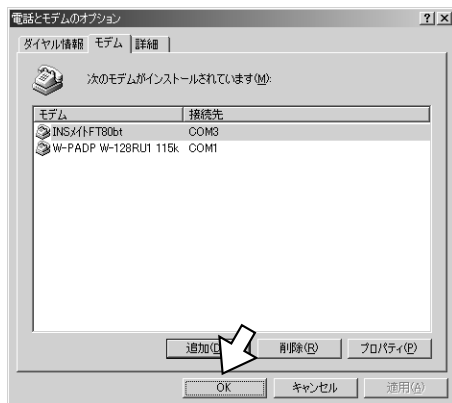


**5** Windows  
ネット接続する

RS-232Cポートを使うには

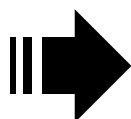
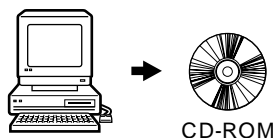
(次ページへつづく)

16 [OK] をクリックする。



17 CD-ROMドライブからW-128RU1専用CD-ROMを取り出す。

以上でインストールは完了です。



引き続き、「インターネットへ接続するには」(P41)へ進みます。



## ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するには  
パソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P64)



## お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。  
パソコンのRS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。  
RS-232Cポートを通信速度230.4kbit/sで使用する場合は、パソコンが230.4kbit/sに対応している必要があります。対応していない場合は、別途230.4kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cポートを用意していただくか、115.2kbit/sでご利用ください。



# インターネットへ接続するには

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

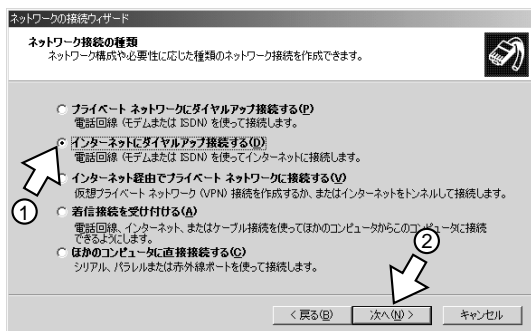
## 接続先の設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントに接続するための情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、パスワード、アクセスポイントなどの情報が必要です。

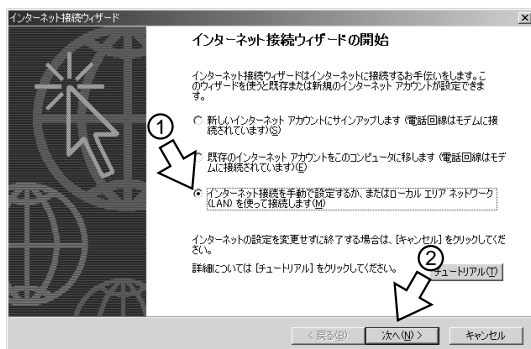
**1** [スタート] ボタンをクリックし、[ 設定 ] - [ ネットワークとダイヤルアップ接続 ] をクリックし、[ 新しい接続の作成 ] をダブルクリックする。  
[ ネットワークの接続ウィザード ] 画面が表示されます。

**2** [ 次へ > ] をクリックする。

**3** [ インターネットにダイヤルアップ接続する ] をクリックし、[ 次へ > ] をクリックする。



**4** [ インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク (LAN) を使って接続します ] をクリックし、[ 次へ > ] をクリックする。



**5** 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」をクリックし、[ 次へ > ] をクリックする。

[ モデムの選択 ] 画面が表示されたときは、選択するモデムをクリックし、[ 次へ > ] をクリックして、手順6に進みます。

USBポートで接続した場合  
...W-PADP W-128RU1 USB

RS-232Cポートで接続した場合

通信速度115.2kbit/sで接続するとき

...W-PADP W-128RU1 115k

通信速度230.4kbit/sで接続するとき

...W-PADP W-128RU1 230k

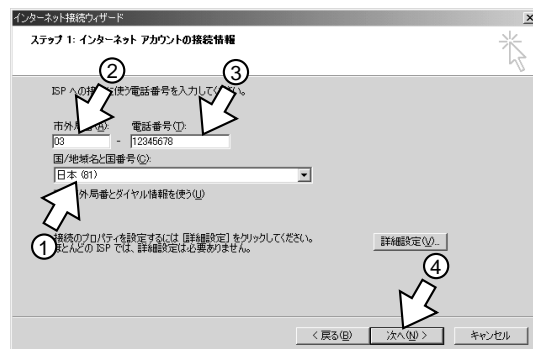


**6** 接続先の電話番号を入力し、[ 次へ > ] をクリックする。国番号.....プルダウンで「日本 ( 81 )」をクリックします。

市外局番...アクセスポイントの市外局番を入力します。  
電話番号...アクセスポイントの電話番号を入力します。  
(注1)

注1：利用する通信速度は、設定ユーティリティで設定してください。(←P57)

アクセスポイントの市外局番は、発信元と同じでも必ず入力してください。



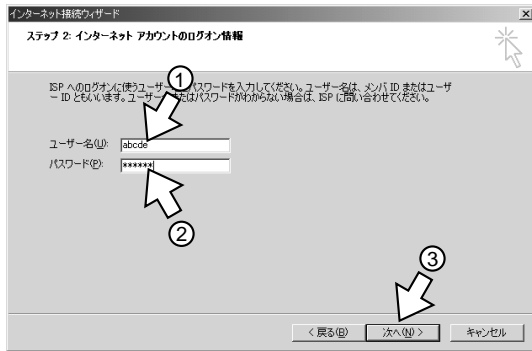
## ワンポイント

利用する通信速度の設定やその他の設定( BOD、フォールバック等 ) は、設定ユーティリティで行ってください。(←P57)

(次ページへつづく)

# インターネットへ接続するには

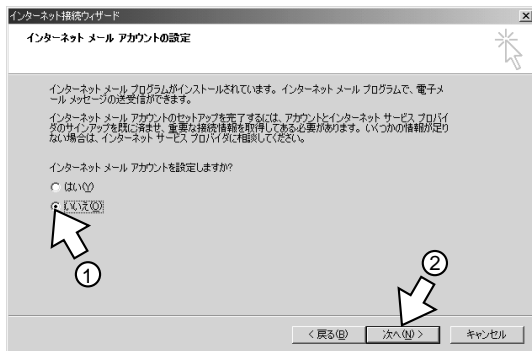
7 [ユーザ名]と[パスワード]を入力し、[次へ>]をクリックする。



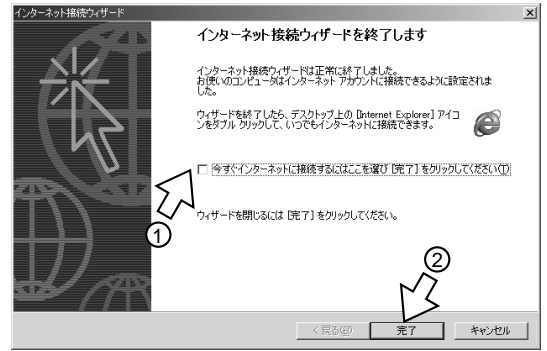
8 [接続名]に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力し、[次へ>]をクリックする。



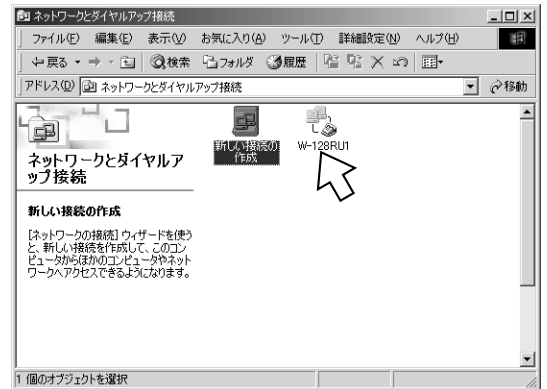
9 [いいえ]をクリックし、[次へ>]をクリックする。必要に応じて[はい]をチェックしてインターネットメールアカウントを設定してください。



10 [今すぐインターネットに接続するにはここを選び [完了]をクリックしてください]のチェックを外し、[完了]をクリックする。



ネットワークとダイヤルアップ接続に作成した接続のアイコン (W-128RU1) が表示されます。



引き続き、「TCP/IPの設定を行う」(P43)へ進みます。

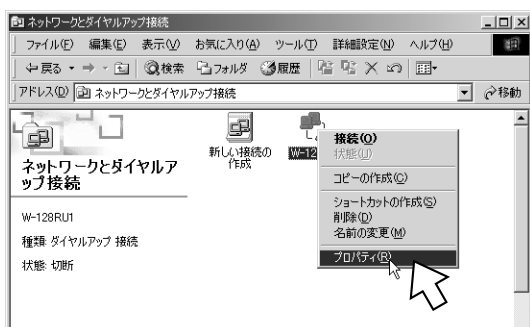
## お知らせ

インターネットへの接続設定についての詳細は、各ソフトウェアメーカー、プロバイダにお問い合わせください。接続条件によっては、操作手順が異なる場合があります。

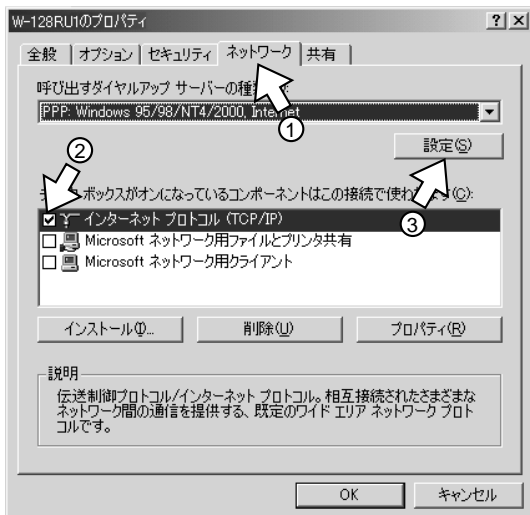
## TCP/IPの設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

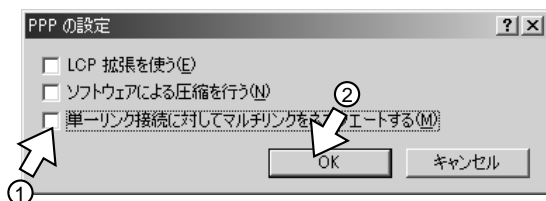
- 1 「接続先の設定を行う」(←P41)で作成したアイコンを右クリックし、ショートカットメニューの[プロパティ]をクリックする。



- 2 [ネットワーク] タブをクリックし、[インターネットプロトコル]のみをチェックし、[設定]をクリックする。



- 3 [PPPの設定]のチェックをすべて外して、[OK]をクリックする。



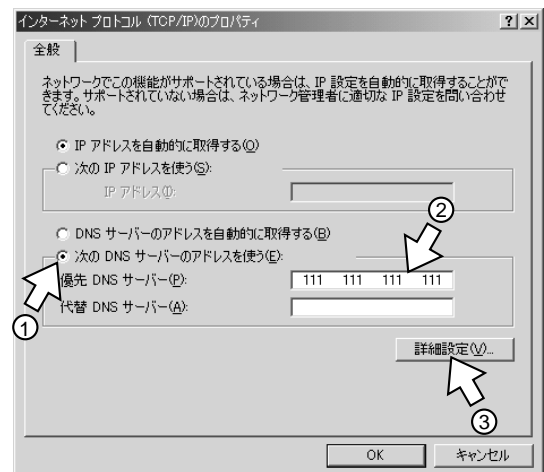
- 4 手順2の画面に戻るので、[プロパティ]をクリックする。

- 5 [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、DNSサーバーの設定をして[詳細設定]をクリックする。

[IPアドレスを自動的に取得する]にチェックがあることを確認します。

[優先DNSサーバー]にプロバイダから通知されたドメインネームサーバのIPアドレスを入力してください。プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合には、[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をチェックします。

例：ドメインネームサーバのIPアドレスが「111.111.111.111」の場合



- 6 [PPPリンク]の[IPヘッダーの圧縮を使う]のチェックを外して、[OK]をクリックする。



- 7 各画面で[OK]をクリックし、設定を完了する。

設定が完了したら、「インターネットへ接続する」(←P44)へ進みます。

## インターネットへ接続する

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。

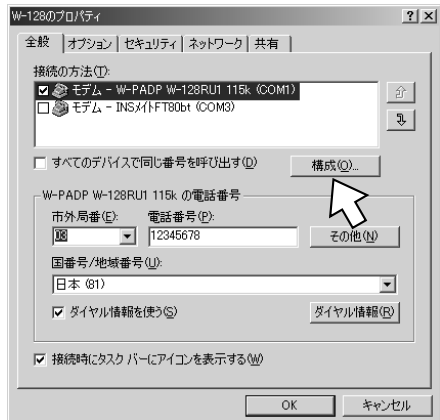
- 1 [接続先の設定を行う]で作成したアイコンをダブルクリックする。



- 2 [プロパティ]をクリックする。



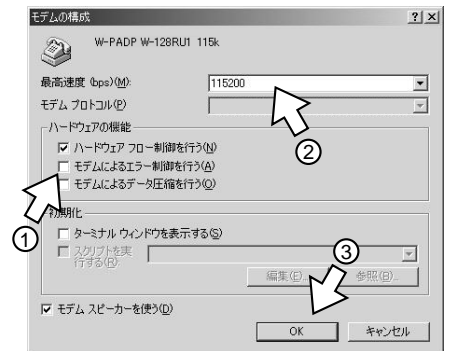
- 3 使用するモデムをクリックし、[構成]をクリックする。



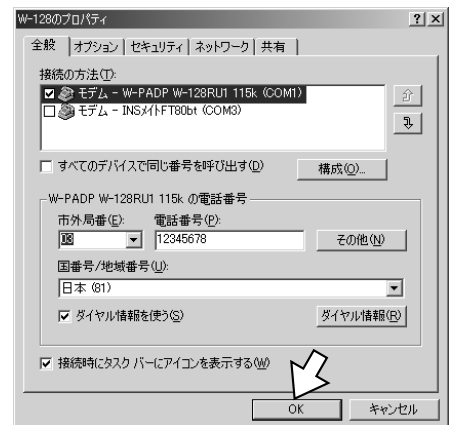
- 4 選択したモデムに合わせて最高速度を設定して [OK] をクリックする。

[ハードウェアの機能]の[モデムによるエラー制御を行う]と[モデムによるデータ圧縮を行う]のチェックを外してください。

- 選択したモデムが[W-PADP W-128RU1 115k]のとき [最高速度] 115 200 bpsもしくは115 200 bps 以下で設定可能な一番速い数値
- 選択したモデムが[W-PADP W-128RU1 230k]のとき [最高速度] 230 400 bpsもしくは230 400 bps 以下で設定可能な一番速い数値
- 選択したモデムが[W-PADP W-128RU1 USB]のとき [最高速度] 設定可能な一番速い数値



- 5 [OK]をクリックする。



**6** 手順2の画面に戻り、[ユーザー名] [パスワード]が入力されていることを確認し、[ダイヤル]をクリックする。

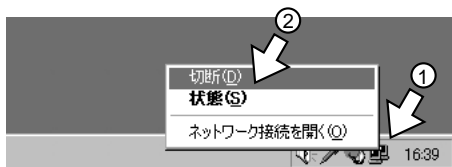
回線が接続されます。

接続が完了した際に、[接続]画面が表示された場合は、[閉じる]をクリックします。



**7** ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。  
操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。

**8** インターネット接続を終了するときには、画面右下の [ダイヤルアップ接続] アイコンを右クリックし、[切断]をクリックする。



### お知らせ

USBポート通信中に、USBケーブルを抜かないでください。パソコンによっては、動作が不安定になったり、フリーズしたりすることがあります。

USBポート利用時には、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能を使用しないでください。USBポートを利用することにより、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能が働かない場合があります。

RS-232Cポートを通信速度230.4kbit/sで使用する場合は、パソコンが230.4kbit/sに対応している必要があります。対応していない場合は、別途230.4kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cポートを用意していただくか、115.2kbit/sでご利用ください。

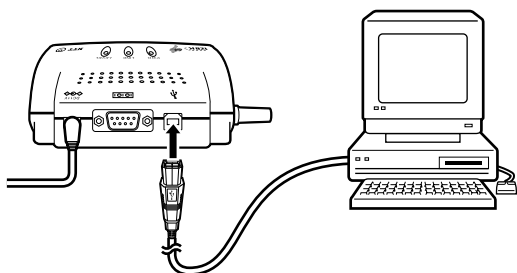
# USBポートを使うには

OSとしてWindows® XPを使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続して使うには、はじめに次の操作が必要です。付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

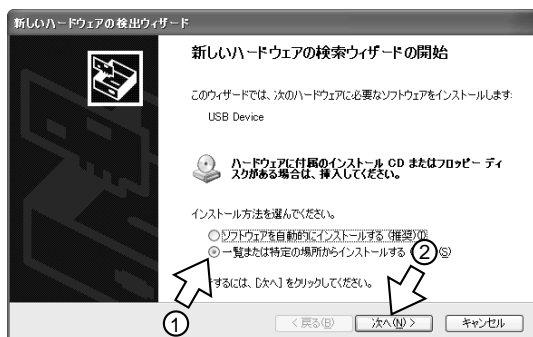
## パソコンと接続して モデムドライバをインストールする

1 パソコンの電源を入れる。

2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続する。  
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。

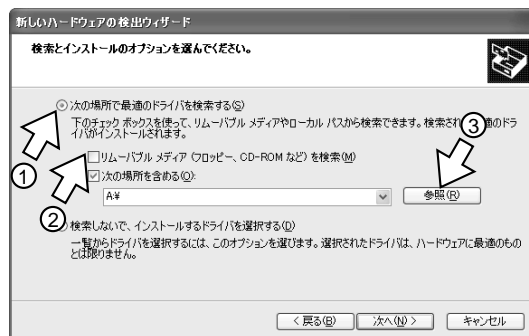


3 [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



4 W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

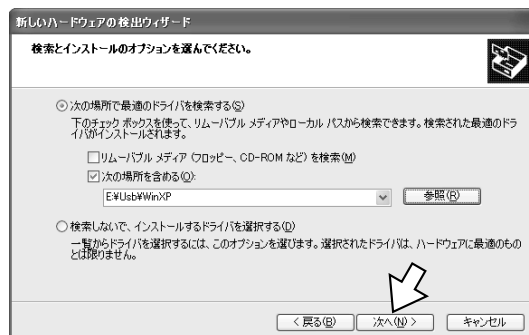
5 [次の場所で最適なドライバを検索する] をクリックし、[リムーバブルメディアを検索] のチェックを外し、[参照] をクリックする。



6 W-128RU1専用CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブを指定して [Usb] フォルダをクリックし、[WinXP] フォルダをクリックし [OK] をクリックする。



7 [次へ>] をクリックする。



- 8 下の画面が表示された場合は、[ 続行 ] をクリックする。  
表示されない場合は手順9へ進んでください。



- 9 [ 完了 ] をクリックする。



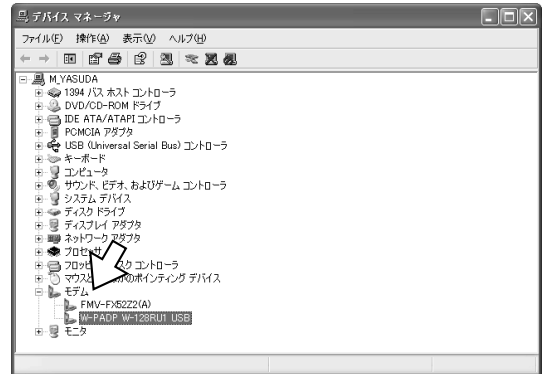
- 10 [ スタート ] ボタンをクリックし、[ コントロールパネル ] をクリックする。

- 11 [ システム ] アイコンをダブルクリックする。  
[ システム ] アイコンがない場合は、[ コントロールパネル ] の [ クラシック表示に切り替える ] をクリックして、[ システム ] アイコンを表示させてダブルクリックしてください。

- 12 [ ハードウェア ] タブをクリックし、[ デバイスマネージャ ] をクリックする。

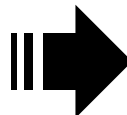


- 13 [ モデム ] の [ + ] をクリックし、[ W-PADP W-128RU1 USB ] が表示されていることを確認する。



[ モデム ] の [ W-PADP W-128RU1 USB ] に①が表示されたときは、「USBポートに関するQ & A」(←P70)をご覧ください。

- 14 各画面で [ X ] をクリックし、CD-ROMドライブからW-128RU1専用CD-ROMを取り出す。  
以上でモデムドライバのインストールは完了です。



引き続き、「インターネットへ接続するには」(←P51)へ進みます。



### ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(←P64)

USBケーブルを接続してもパソコンが本商品をお認識しないときはUSBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。それでも正しくお認識しない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。



### お知らせ

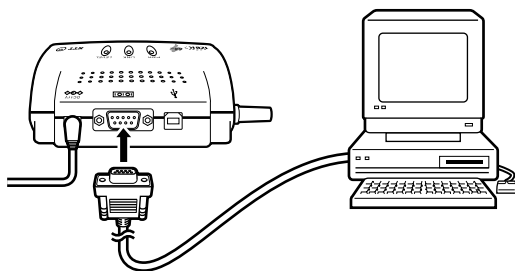
画面表示や手順はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

# RS-232Cポートを使うには

OSとしてWindows® XPを使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続して使うには、はじめに次の操作が必要です。付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

## パソコンと接続してモデム定義 ファイルをインストールする

1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。



2 パソコンの電源を入れる。

3 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックする。

4 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックする。

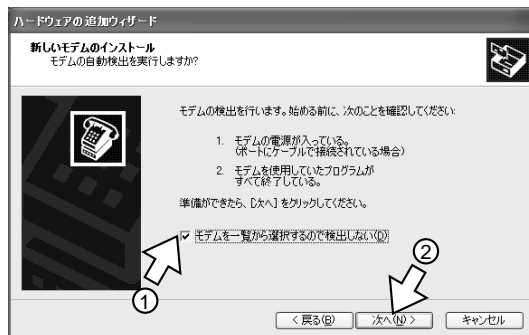
[所在地情報] が表示された場合は、市外局番やダイヤル情報を入力し、[OK] をクリックします。  
[電話とモデムのオプション] アイコンがない場合は、[コントロールパネル] の [クラシック表示に切り替える] をクリックし、[電話とモデムのオプション] アイコンを表示させてダブルクリックしてください。



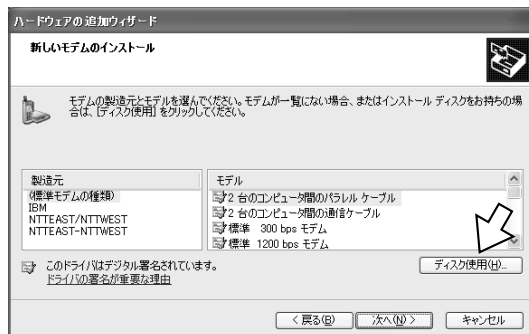
5 [モデム] タブをクリックし、[追加] をクリックする。



6 [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして [次へ>] をクリックする。

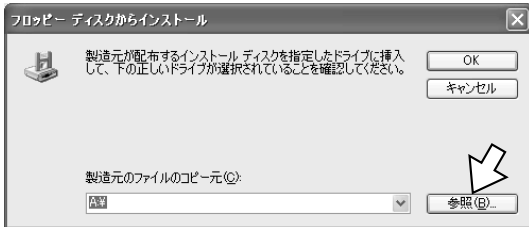


7 [ディスク使用] をクリックする。





**8** W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、[ 参照 ] をクリックする。



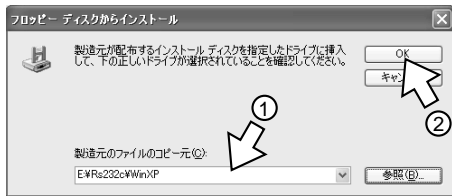
**9** [ ファイルの場所 ] の▼をクリックし、一覧からCD-ROMドライブを選択する。



**10** [ Rs232c ] フォルダをダブルクリックし、[ WinXP ] フォルダをダブルクリックして [ 開く ] をクリックする。



**11** [ 製造元のファイルのコピー元 ] に [ Rs232c ¥ WinXP ] が表示されていることを確認し、[ OK ] をクリックする。



**12** 次のいずれかをクリックし、[ 次へ > ] をクリックする。

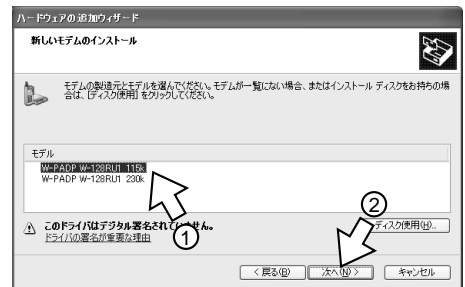
ご利用になる通信速度に合わせて、モデム定義ファイルを選択してください。

通信速度115.2kbit/sで接続するとき  
(通常はこちらを選択してください。)

...W-PADP W-128RU1 115k

通信速度230.4kbit/sで接続するとき

...W-PADP W-128RU1 230k



**13** [ 選択したポート ] をチェックし、インストールするCOMポートを選択し、[ 次へ > ] をクリックする。

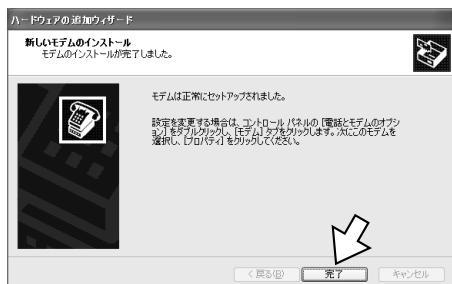


**14** 下の画面が表示された場合は [ 続行 ] をクリックする。

表示されないときは、手順15に進んでください。



15 [完了] をクリックする。

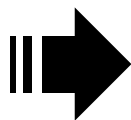
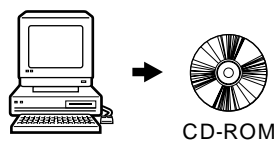


16 [OK] をクリックする。



17 CD-ROMドライブからW-128RU1専用CD-ROMを取り出す。

以上でインストールは完了です。



引き続き、「インターネットへ接続するには」(←P51)へ進みます。



## ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するには、パソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(←P64)



## お知らせ

画面表示や手順はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。  
パソコンのRS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。  
RS-232Cポートを通信速度230.4kbit/sで使用する場合は、パソコンが230.4kbit/sに対応している必要があります。対応していない場合は、別途230.4kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cポートを用意していただくか、115.2kbit/sでご利用ください。

# インターネットへ接続するには

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

## 接続先の設定を行う

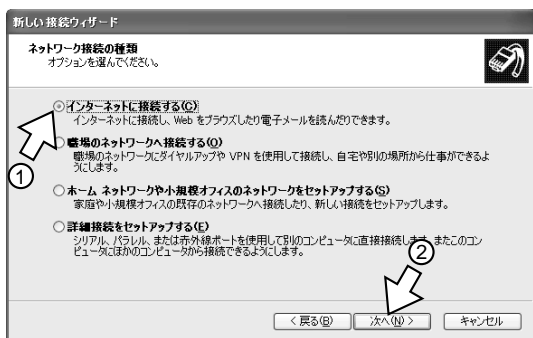
ご利用になるインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントに接続するための情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、パスワード、アクセスポイントなどの情報が必要です。

**1** [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックし、[ネットワーク接続] をダブルクリックする。さらに、[ネットワークタスク] の [新しい接続を作成する] をクリックする。

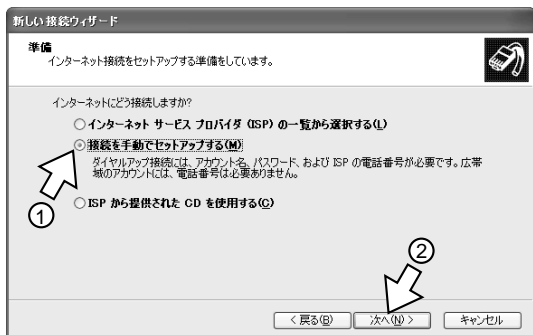
[新しい接続ウィザード] の開始画面が表示されます。上記の手順が実行できないときは、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックし、[ネットワークとインターネット接続] をクリックする。さらに、[コントロールパネルを選んで実行します] の [ネットワーク接続] をクリックし、[ネットワークタスク] の [新しい接続を作成する] をクリックしてください。

**2** [次へ>] をクリックする。

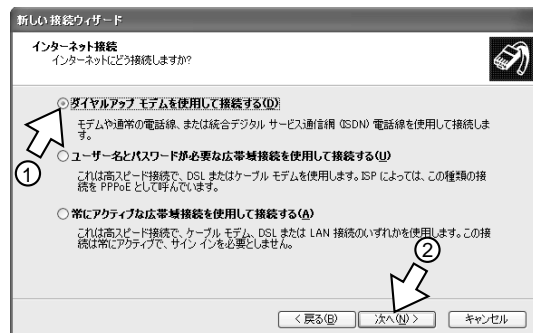
**3** [インターネットに接続する] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



**4** [接続を手動でセットアップする] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



**5** [ダイヤルアップモデムを使用して接続する] をクリックし、[次へ>] をクリックする。

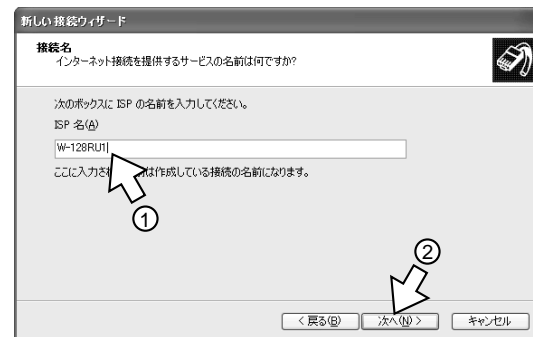


**6** W-128RU1のモデムをクリックし、その他のモデムのチェックをはずし、[次へ>] をクリックする。

USBポートで接続した場合  
...W-PADP W-128RU1 USB  
RS-232Cポートで接続した場合  
通信速度 115.2kbit/sで接続するとき  
...W-PADP W-128RU1 115k  
通信速度 230.4kbit/sで接続するとき  
...W-PADP W-128RU1 230k



**7** [ISP名] (接続名) に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力し、[次へ>] をクリックする。



(次ページへつづく)

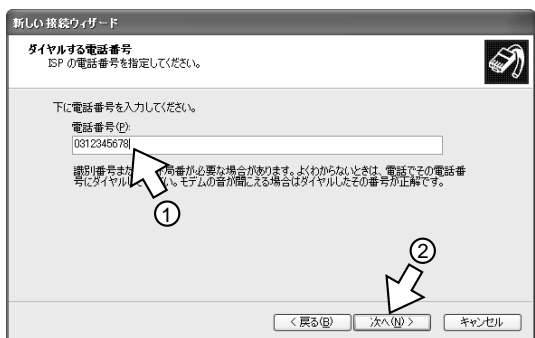
# インターネットへ接続するには

**8** 接続先の電話番号を入力し、[次へ>]をクリックする。

電話番号... アクセスポイントの電話番号を入力します。  
(注1)

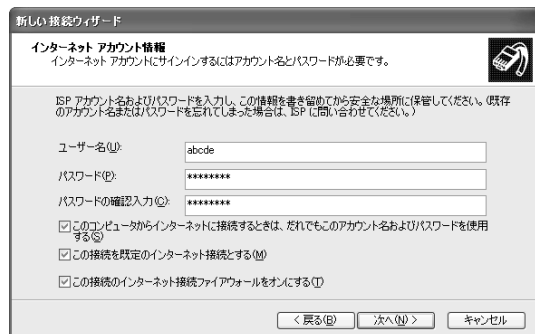
注1：利用する通信速度は、設定ユーティリティで設定してください。(P57)

アクセスポイントの市外局番は、発信元と同じでも必ず入力してください。

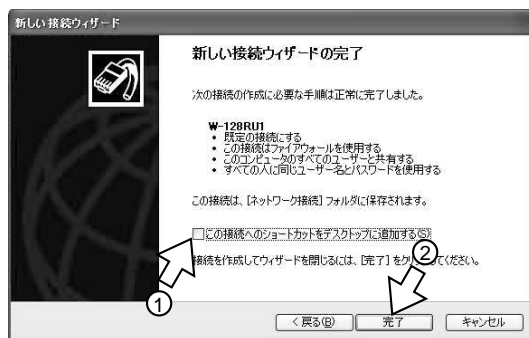


**9** [ユーザー名] [パスワード] [パスワードの確認入力]を入力します。

その他の3項目については、ご利用にあわせて設定してください。



**10** [この接続へのショートカットをデスクトップに追加する]をご利用にあわせてチェックし、[完了]をクリックする。



ネットワークとダイヤルアップ接続に作成した接続のアイコン (W-128RU1) が表示されます。



お使いのパソコンによって、ダイヤルアップが自動的に立ち上がる場合があります。その場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

引き続き、「TCP/IPの設定を行う」(P53)へ進みます。

## ワンポイント

利用する通信速度の設定やその他の設定 (BOD、フォールバック等) は、設定ユーティリティで行ってください。(P57)

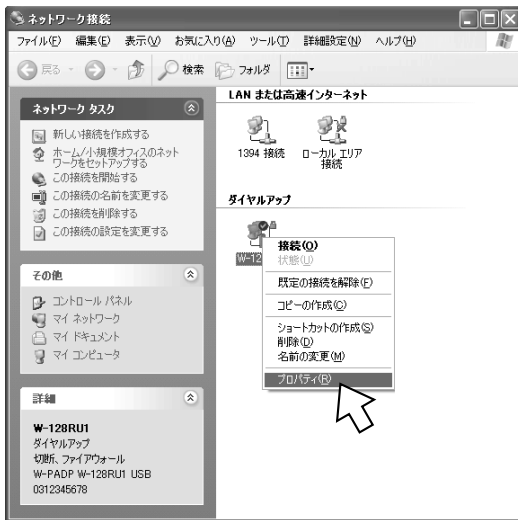
## お知らせ

インターネットへの接続設定についての詳細は、各ソフトウェアメーカー、プロバイダにお問い合わせください。接続条件によっては、操作手順が異なる場合があります。画面表示や手順はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

## TCP/IPの設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

- 1 「接続先の設定を行う」(←P51) で作成したアイコンを右クリックし、ショートカットメニューの [ プロパティ ] をクリックする。



- 2 [ ネットワーク ] タブをクリックし、[ インターネットプロトコル ] と [ QoSパケットスケジューラ ] をチェックし、[ プロパティ ] をクリックする。



- 3 [ 次のDNSサーバーのアドレスを使う ] をクリックし、DNSサーバーの設定をして [ 詳細設定 ] をクリックする。

[ IPアドレスを自動的に取得する ] にチェックがあることを確認します。

[ 優先DNSサーバー ] にプロバイダから通知されたドメインネームサーバのIPアドレスを入力してください。プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合には、[ DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する ] をチェックします。

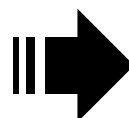
例：ドメインネームサーバのIPアドレスが「111.111.111.111」の場合



- 4 [ PPPリンク ] の [ IPヘッダーの圧縮を使う ] のチェックを外して、[ OK ] をクリックする。



- 5 各画面で [ OK ] をクリックし、設定を完了する。



設定が完了したら、「インターネットへ接続する」(←P54) へ進みます。

## インターネットへ接続する

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。

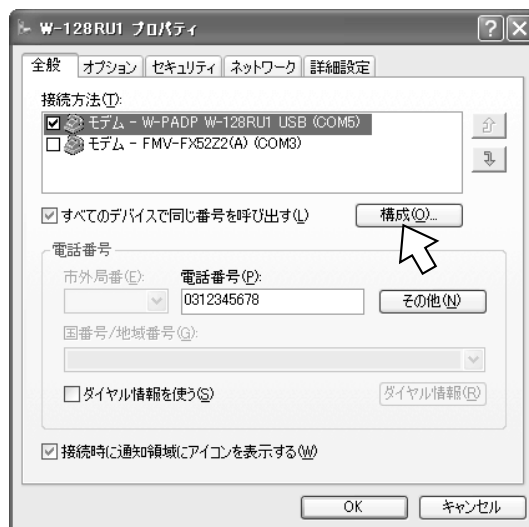
**1** [接続先の設定を行う]で作成したアイコンをダブルクリックする。



**2** [プロパティ]をクリックする。



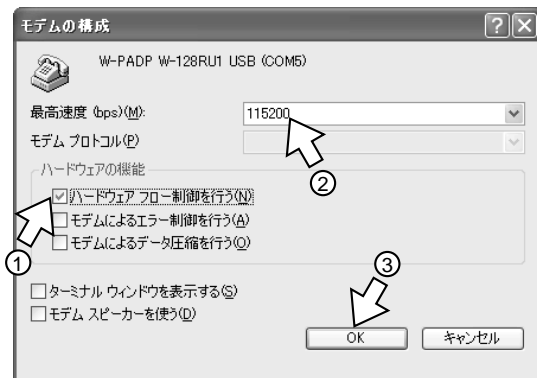
**3** [構成]をクリックする。



**4** 選択したモデムに合わせて最高速度を設定して [OK] をクリックする。

[ハードウェアの機能]の[ハードウェアフロー制御を行う]のみにチェックする。

- 選択したモデムが[W-PADP W-128RU1 115k]のとき [最高速度] 115 200 bpsもしくは115 200 bps 以下で設定可能な一番速い数値
- 選択したモデムが[W-PADP W-128RU1 230k]のとき [最高速度] 230 400 bpsもしくは230 400 bps 以下で設定可能な一番速い数値
- 選択したモデムが[W-PADP W-128RU1 USB]のとき [最高速度] 設定可能な一番速い数値



**5** [OK] をクリックする。



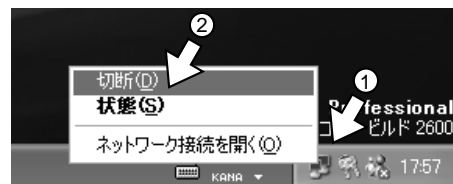
**6** 手順2の画面に戻り、[ユーザー名] [パスワード] [ダイヤル] が入力されていることを確認し、[ダイヤル] をクリックする。  
回線が接続されます。

接続が完了した際に、[接続] 画面が表示された場合は、[閉じる] をクリックします。



**7** ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。  
操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。

**8** インターネット接続を終了するときは、画面右下の [ダイヤルアップ接続] アイコンを右クリックし、[切断] をクリックする。



**お知らせ**

USBポート通信中に、USBケーブルを抜かないでください。パソコンによっては、動作が不安定になったり、フリーズしたりすることがあります。

USBポート利用時には、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能を使用しないでください。USBポートを利用することにより、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能が働かない場合があります。

RS-232Cポートを通信速度230.4kbit/sで使用する場合は、パソコンが230.4kbit/sに対応している必要があります。対応していない場合は、別途230.4kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cポートを用意していただくか、115.2kbit/sでご利用ください。

# 設定ユーティリティをインストールするには

設定ユーティリティを利用すると、通信機器の設定変更だけでなく、ファームウェアのバージョンアップも行えます。設定ユーティリティを使うには、付属品のW-128RU1専用CD-ROMからパソコンにインストールする必要があります。付属品のW-128RU1専用CD-ROMをご用意ください。

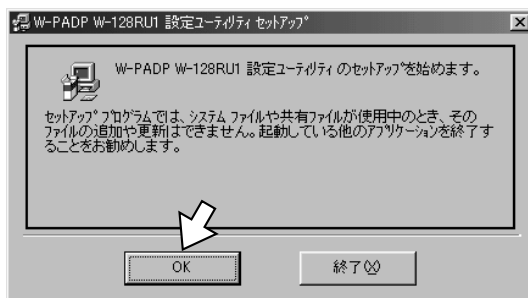
Windows® Me / Windows® 98 /  
Windows® 98 Second Edition /  
Windows® 2000 / Windows® XP  
共通

Windows® Meの画面を例に説明します。お使いのパソコンの機種により、表示が異なる場合があります。

- 1 起動中のアプリケーションをすべて終了する。
- 2 W-128RU1専用のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- 3 [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする。  
Windows® XPの場合、[マイコンピュータ]アイコンがない場合があります。  
アイコンがない場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[マイコンピュータ]をクリックします。



- 4 W-128RU1専用CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブをダブルクリックし、[Utility]フォルダをダブルクリックする。
- 5 [setup.exe]をダブルクリックし、次の画面が表示されたら[OK]をクリックする。



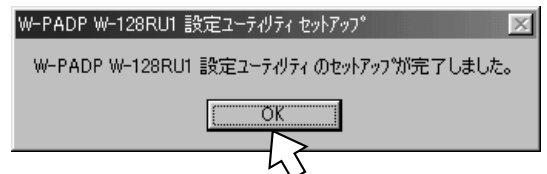
- 6 ダイアログボックスの左上のボタンをクリックする。設定ユーティリティのセットアップが開始されます。インストールするディレクトリを変更する場合は、[ディレクトリ変更]をクリックし、ディレクトリを指定してください。



- 7 次のような画面が表示されたら、[ 継続 ] をクリックする。  
プログラムグループを変更する場合は、[ 既存のグループ ] リストから選択するか、新しい名前を [ プログラムグループ ] ボックスに入力してから [ 継続 ] をクリックします。



- 8 [OK] をクリックする。





# 通信モードを設定するには

本商品は、インターネットサービスプロバイダにPIAFS / 同期PPP変換 (32K、64K)、マルチリンクPPP (128K) の2種類の通信モードの中から選択して接続できます。利用する通信モードに合わせて、設定ユーティリティの設定を行ってください。

## PIAFS / 同期PPP変換 (32K、64K)

本商品からの通信データを増設登録したISDNコードレスホンでINSネット64回線の同期PPPデータに変換して通信するモードです。インターネットの同期PPP接続サービス (64K) を利用するときに選択します。

## マルチリンクPPP (128K)

マルチリンクPPPとは、マルチリンクプロトコル (Multilink Protocol : MP) 方式により、INSネット64の2本のBチャンネルを使って通信を行うモードです。

無線区間は64 kbit/sの通信リンクを2つ束ね、ISDN回線では2本のBチャンネルを束ねて128 kbit/sで通信を行うモードを128KマルチリンクPPPと呼びます。

## 各通信モードを利用するための機能設定

以下の設定は、設定ユーティリティを使って行ってください。(P58)

通信モード		必要な通信機能設定
PIAFS / 同期PPP	32K	通信速度 : 32 kbit/s
	64K	通信速度 : 64 kbit/s フォールバック : 使用しない、または使用する
マルチリンクPPP	128K	通信速度 : 128 kbit/s リソースBOD : 使用する スループットBOD : 使用する フォールバック : 使用しない、または使用する



### ワンポイント

フォールバックとは

コードレス電話機使用台数や無線受信レベルの状況によって64K PIAFSで発信できないときに自動的に32K PIAFSに速度を落としたり、128K PIAFSで発信できないときに自動的に64K PIAFSや32K PIAFSに速度を落として発信し直す機能です。

リソースBODとは

使用するチャンネル数を自動的に切り替える機能です。

「使用する」に設定していれば、マルチリンクPPPでのデータ通信中に電話の発着信があった場合、Bチャンネルを1本削除して電話機が使用できるようになります。

スループットBODとは

使用するチャンネル数を、通信データの量に応じて自動的に切り替える機能です。

スループットBOD機能を利用すると、通信データ量が少ないときには1本のBチャンネルを使用し、多いときは2本のBチャンネルを使用して通信を行うことができます。

マルチリンクPPPの通信料金は

2本のBチャンネルを使用するので、同期64K通信で1本のBチャンネルを使用しているときの2倍の通信料金がかかります。



### お知らせ

プロバイダのアクセスポイントのポートに空きがない場合は、128KマルチリンクPPP通信で発信しても、1本のチャンネルしか接続できないことがあります。この場合は、同期64K通信になります。

128KマルチリンクPPP通信を行うためには、プロバイダ側が認証プロトコルとしてPAP (パスワード認証プロトコル) をサポートしている必要があり、「2本目のBチャンネルPPPネゴシエーションは、1本目のネゴシエーションと同じ値を許容する」となっている必要があります。通常、プロバイダはこれをサポートしています。

コードレス電話機使用中などで、128K通信の設定をしても、32Kや64K通信となる場合があります。詳しくは、「128K利用に関するQ&A」(P72)を参照してください。

W-1200Tを主電話機にしてMUX機能をご利用の場合は、通信速度32kbit/sまたは64kbit/sに設定してご利用ください。プロバイダの状況、データ通信の利用状況 (Webページを見る、ダウンロードするなど)、アクセスポイントの混雑状況などによっては、Bチャンネルの追加と削除が頻繁に発生し、料金が高くなる場合があります。

## 通信モードを設定するには

## 機能設定の変更を行う

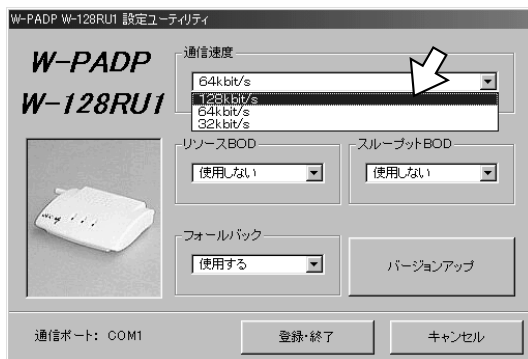
1 起動中のアプリケーションをすべて終了し、付属のUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルがパソコンと接続されていることを確認する。

2 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] - [W-PADP W-128RU1] - [W-PADP W-128RU1設定ユーティリティ] をクリックする。

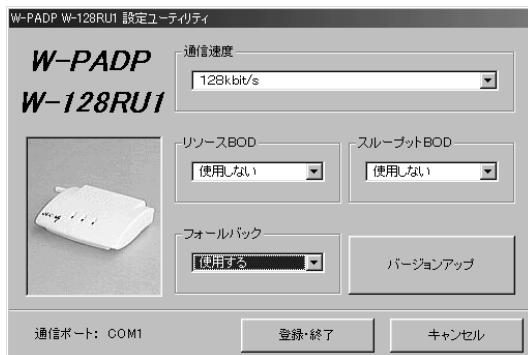
設定ユーティリティが起動します。USBケーブルまたはRS-232Cケーブルが接続されていない時は、設定ユーティリティは起動せずエラーメッセージを表示します。ケーブルを接続し、[OK] をクリックし、ケーブルを接続した通信ポートを選択し [OK] をクリックしてください。

3 設定を変更する項目の▼をクリックしてプルダウンリストを表示させ、選択する値をクリックする。

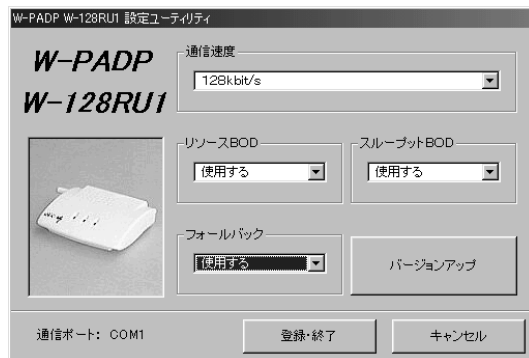
通信速度の設定で [128kbit/s] を選択する場合



例1) 通信速度128kbit/s、リソースBOD・スループットBODを使用しない、フォールバックを使用するに設定する場合



例2) 通信速度128kbit/s、リソースBODを使用する、スループットBODを使用する、フォールバックを使用するに設定する場合



例3) 通信速度64kbit/s、リソースBOD・スループットBODを使用しない、フォールバックを使用しないに設定する場合



4 すべての設定変更が終了したら、[登録・終了] をクリックする。



## ワンポイント

ATコマンドで通信を制御するには  
本商品は、モデムの標準的な制御コマンドであるATコマンドをサポートしており、ATコマンドで通信機能などの設定を行うこともできます。(P64)

# 本商品のバージョンアップを行うには

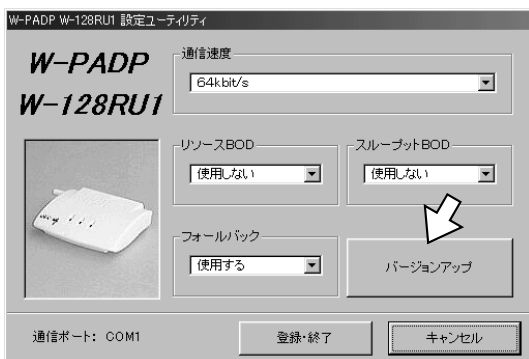
本商品は、ファームウェアのバージョンアップを行うことができます。  
バージョンアップソフトウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です（<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>または<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>）  
ダウンロードの方法は、当社の通信機器商品のご案内ホームページを参照してください。

**1** 起動中のアプリケーションをすべて終了し、付属のUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルがパソコンと接続されていることを確認する。

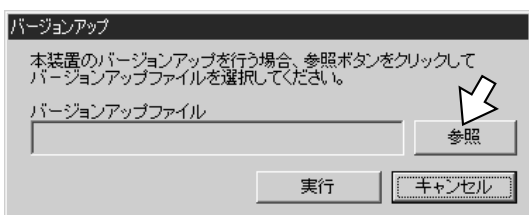
**2** [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] - [W-PADP W-128RU1] - [W-PADP W-128RU1設定ユーティリティ] をクリックする。

設定ユーティリティが起動します。USBケーブルまたはRS-232Cケーブルが接続されていない時は、設定ユーティリティは起動せずエラーメッセージを表示します。ケーブルを接続し、[OK] をクリックし、ケーブルを接続した通信ポートを選択し [OK] をクリックしてください。

**3** [バージョンアップ] をクリックする。



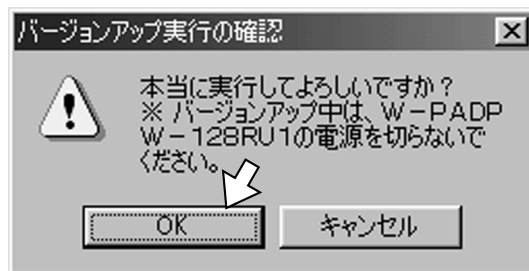
**4** [参照] をクリックする。



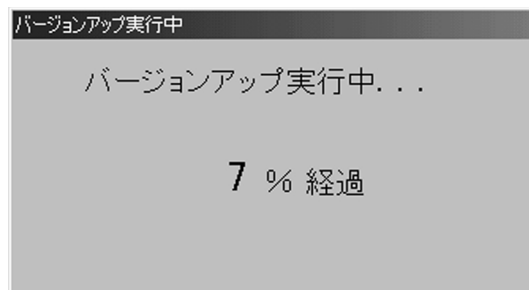
**5** 表示されたダイアログボックスでバージョンアップするファイルを選択し、[開く] をクリックする。



**6** [実行] をクリックし、[OK] をクリックする。



バージョンアップ実行中画面が表示されます。



**7** バージョンアップが終了したら、[OK] をクリックする。



# 本商品のバージョンアップを行うには



## ワンポイント

ファームウェアとは  
W-128RU1に内蔵されているフラッシュメモリに書き込まれるソフトウェアのことです。新しいバージョンのファームウェアをフラッシュメモリに書き込むことにより、新しい機能が利用できるようになります。

バージョンアップにかかる時間は  
バージョンアップはおよそ5～10分程度で終了しますが、本商品とパソコン間の通信速度やお使いのパソコンの能力により異なります。

COMポート番号の確認方法は  
OSとしてWindows® Meを使用している場合の例を示します。他のOSをご使用の場合、多少手順は異なりますが、同様の方法で確認できます。

[マイコンピュータ]を開き、[コントロールパネル]をダブルクリックする。

[モデム]をダブルクリックする。

USBポートの場合

[W-PADP W-128RU1 USB]をクリックして[プロパティ]をクリックする。

RS-232Cポートの場合

[W-PADP W-128RU1 \* \* \* k]をクリックして[プロパティ]をクリックする。

[全般]タブの[ポート]に本商品を接続している通信ポート番号が表示される



## お知らせ

バージョンアップを正常に終了させないと、本商品が動作できなくなります。

## STOP お願い

バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。故障の原因になります。

バージョンアップ中はパソコンの電源を切ったり、バージョンアップを中断したりしないでください。故障の原因となります。

# データ通信を行うには

本商品で利用できるデータ通信の機能について解説します。  
ATコマンド、レジスタについては、P62～67を参照してください。

## 発信する

本商品と相手側装置との接続が完了すると、データ通信が行えます。

### 電話番号を指定して発信する

ATDコマンドで電話番号を指定してダイヤルします。(☞P65)

例 03-1234-5678を指定する場合  
ATD0312345678

## 着信を受ける

着信があるときは、ATコマンドを実行することにより、相手からの着信要求に応答できます。本商品と相手側装置との接続が完了すると、データ通信が行えます。

相手側の装置からの着信を受ける方法は2種類あります。

### 自動着信する

ATSOコマンドで自動着信するまでのリング数を設定できます。(☞P63)

自動着信すると相手側装置との接続が開始されます。接続が完了すると、パソコンに接続が完了したことが通知されます。

### 自動着信しない

ATSOコマンドで自動着信するまでのリング数を0に設定すると自動着信は行われません。応答するときは、ATAコマンドを実行します。(☞P65)  
着信すると、パソコンの画面に「RING」と表示されます。

## 通信を終了する

通信を終了するときは、+++ (エスケープシーケンス)と続けて入力し、コマンドモードにしてからATH0コマンドを実行します。(☞P63、65)



### お知らせ

着信は個別着信のみです。サブアドレスを付けて着信させてください。それ以外の番号では着信しません。  
詳しくは主電話機の各取扱説明書を参照してください。

# ATコマンド形式

ATコマンドは、米国Hayes社が開発したモデムを制御するためのコマンドで、多くのモデムで採用されています。本商品は、ATコマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを追加しています。

## コマンド形式

ATコマンドは、以下の形式で入力します。

`A T コマンド CR`

ATで始まり、CRコードで終わります（無効のコマンドは、無視されます）。

コマンド	内容	保存
A	手動着信	
[A/]	直前に実行したコマンドの再実行	
D	発信	
En	エコー制御	
Hn	切断	
In	認識コード	
O(オー)	通信状態復帰	
Qn	リザルトコードの有無	
Sn	Sレジスタの書き込み	
Sn?	Sレジスタの表示	
Un	発信番号表示の有無の設定	
Vn	リザルトコードの表示形式	
Zn	パラメータの初期化	
&Cn	回路CD制御	
&Dn	回路ER制御	
&F	フルリセット	
&Kn	シリアルポートフロー制御選択	
&Sn	回路DR制御	
&Wn	メモリへの記憶の設定	
¥S	レジスタ設定値表示	
¥Vn	PSリザルトコード表示	
¥Zn	アダプタ間プロトコル表示	
#SBn	発信者番号通知	
#SNn?	電話番号要求	
#ST?	受信レベル表示	
\$ Mn	マルチリンクPPP通信の設定	

- ・各コマンドの詳細は「ATコマンド詳細」(P65~67)を参照してください。
- ・「保存」欄の「 」印は、設定値を保存するコマンド(&Wn)によって保存できるコマンドです。

## リザルトコード

送出したコマンドに対して表示される本商品からの応答結果を、リザルトコードといいます。表示されるリザルトコードには、文字形式と数字形式があり、「ATVコマンド」で選択することができます。(P66)

文字形式

`CR LF リザルトコード(文字) CR LF`

数字形式

`リザルトコード(数字) CR`

文字	数字	意味
OK	0	ATコマンドが正しく実行されました
CONNECT	1	発信の結果、相手と通信状態になりました データ通信モードへ復帰しました
RING	2	着信がありました
NO CARRIER	3	回線が切断されました
ERROR	4	コマンドフォーマットエラー コマンド状態エラー
BUSY	7	相手が使用中です
NO ANSWER	8	相手が応答しませんでした
CONNECT 38400	17	通信速度38 400 bit/sで接続しました
CONNECT 57600	18	通信速度57 600 bit/sで接続しました
CONNECT 115200	19	通信速度115 200 bit/sで接続しました
CONNECT 230400	20	通信速度230 400 bit/sで接続しました
PROTOCOL:PIAFS	82	32kPIAFSで接続しました
PROTOCOL:PIAFS64	85	64kPIAFSで接続しました
NOT READY	103	リダイヤル規制時間内です
OUT OF SERVICE	104	圏外です
IN SERVICE	105	圏内です
PS NO RESPONSE	106	主電話機への増設が未登録です
RESTRICTION	107	発信規制中です

## レジスタ

レジスタは、設定内容を記憶しておく場所です。本商品には、以下のSレジスタがあります。

レジスタ	説明	レジスタ	説明
S0	自動応答 設定値：0～255 初期値：0	S32	XON文字（参照専用、設定不可）
	0 自動応答しない	S33	XOFF文字（参照専用、設定不可）
	1～255 設定値の数だけRING（リザルトコード）を送出後、自動応答するRING送出間隔は約3秒	S86	網切断理由（参照専用、設定不可）
S1	RING送出回数（参照専用、設定不可）	S88	アダプタ切断理由（参照専用、設定不可）
S2	エスケープ文字（参照専用、設定不可）	S103	着サブアドレスの区切り 初期値：2 0：/ 1：¥ 2：*
S3	復帰文字（参照専用、設定不可）	S104	発サブアドレスの区切り 初期値：0 0：# 1：% 2：&
S4	改行文字（参照専用、設定不可）	S141	無線区間通信速度・接続装置プロトコル変換 初期値：1 0：32kPIAFS 1：64kPIAFS
S5	後退文字（参照専用、設定不可）		S142
S7	接続時間監視（参照専用、設定不可）		
S12	エスケープガード時間（参照専用、設定不可）		

## コマンドモードとオンラインモード

パソコンから送信されたデータが、本商品を制御するデータか、相手へ送信するデータかを区別するため、次の2つのモードが用意されています。

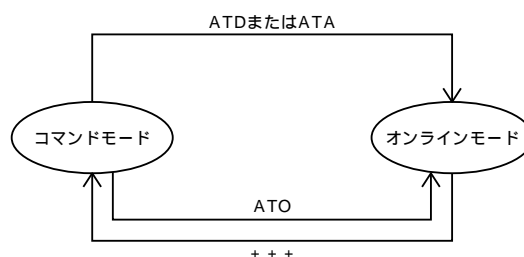
### コマンドモード

パソコンから入力した文字を、本商品の制御コマンドとみなすモードです。

### オンラインモード

実際にデータ通信が行われているモードで、パソコンから入力した文字がそのまま通信相手へ送信されます。

初期状態ではコマンドモードになっており、ATDコマンドで発信したり、ATAコマンドで着信したあと、オンラインモードに切り替わります。また、オンラインモードから一時的にコマンドモードに切り替えるコマンドとして、エスケープシーケンス（+++）があります。



# ATコマンドを入力するには

通信ソフトウェア（Windows® Meのハイパーターミナルなど）を利用して、ATコマンドを入力します。また、「AT」と入力することにより、本商品が正しく接続されていることを確認することができます。

例 Windows® Meのハイパーターミナルを利用して接続を確認する場合

**1** [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [ハイパーターミナル] をクリックする。

[Hyper Terminal] 画面が表示されます。

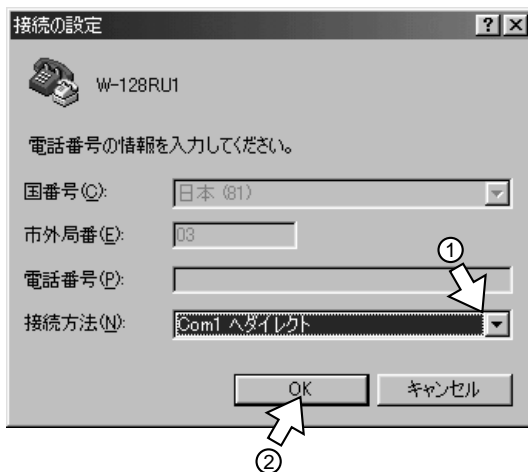
**2** [名前] に任意の名前を入力し [OK] をクリックする。

本商品の設定用の名前を付けて保存すると便利です。



**3** [接続方法] に本商品が接続されているポートへのダイレクトを選択し、[OK] をクリックする。

例 com1ポートに接続しているとき...「com1ヘダイレクト」



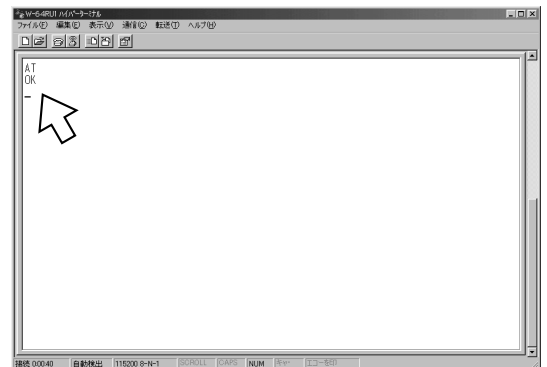
[COM1のプロパティ] 画面が表示されます。

**4** 通信速度などの設定を入力し、各画面で [OK] をクリックする。



ATコマンドを入力できる状態になります。

**5** 「AT」を入力し、リターン（またはEnter）を押す。



本商品が正しく接続されているときは、「OK」と表示されます。

## お知らせ

ATコマンドを使うためには、ATコマンド用のアプリケーションソフトがインストールされている必要があります。ソフトのインストールや設定についての詳細は、ATコマンド用アプリケーションソフトやパソコンなどの取扱説明書を参照してください。

「ハイパーターミナル」以外の通信ソフトウェアをご利用の場合は、お使いのソフトウェアの説明書などを参照して起動し、ATコマンドを入力してください。

ATコマンド入力についての詳細は、各ソフトウェアメーカー、プロバイダ、パソコン通信業者にお問い合わせください。



# ATコマンド詳細

ATコマンドを入力するときにnが省略された場合、0（ゼロ）が指定されたものとして動作します。

A	手動着信
機能	着信に対して手動で応答します。
書式	A
入力例	ATA

[ A / ]	直前に実行したコマンドの再実行
機能	直前に実行したコマンドを再実行します。
書式	[ A / ](ATは不要)
入力例	A /

D	発信	
機能	発信処理を行います。	
書式	D	
パラメータ	L	最終番号の再ダイヤル
	0~9、#、*、 (、) -、Space	
入力例	ATD0312345678	
補足	ただし、電話番号中の(、)、-、Spaceは無視します。 サブアドレスの区切りの初期値は「*」ですが、S103レジスタで「/」、「¥」、「*」の中から選択できます。「*」をサブアドレスの区切りに選んだ場合には、その記号は電話番号には使用できません。「#」は電話番号には使用できません。	

En	エコー制御	
機能	エコーをするか、しないか設定します。	
書式	En	
サフィックス	n=0	エコーしない
	n=1	エコーする(初期値)
入力例	ATE1	

Hn	切断	
機能	通信を切断します。	
書式	Hn	
サフィックス	n=0	切断
	n=1	無視
入力例	ATH0	

In	認識コード	
機能	製品の認識コードを表示します。	
書式	In	
サフィックス	n=0	504853(本商品と同一のコード)
	n=1	PHS
	n=2	NTTEAST/NTTWEST
	n=3	製品バージョン番号
	n=4	W-PADP W-128RU1
入力例	ATI0	

O(オー)	通信状態復帰
機能	コマンドモード(エスケープモード)から、オンラインモードへ戻ります。
書式	O(オー)
入力例	ATO

Qn	リザルトコードの有無	
機能	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。	
書式	Qn	
サフィックス	n=0	リザルトコードを表示する(初期値)
	n=1	リザルトコードを表示しない
入力例	ATQ0	

Sn	Sレジスタの書き込み
機能	Sレジスタn番にパソコンより入力された値mを書き込みます。
書式	Sn=m(n:Sレジスタ番号、m:値)

Sn?	Sレジスタの表示
機能	Sレジスタn番の値をパソコンに表示します。
書式	Sn?(nはSレジスタ番号)

Un	発着信番号表示の有無の設定	
機能	着信したとき、自分の電話番号や相手の電話番号を表示するかどうかを設定します。(AT¥V0、またはAT¥V2に設定時)	
書式	Un	
サフィックス	n=0	発信番号の表示なし、着信番号の表示なし(初期値)
	n=1	発信番号の表示あり、着信番号の表示なし
	n=2	発信番号の表示なし、着信番号の表示あり
	n=3	発信番号の表示あり、着信番号の表示あり
入力例	ATU0	

ATコマンドを入力するには

# ATコマンド詳細

Vn	リザルトコードの表示形式	
機能	リザルトコードの表示形式を設定します。	
書式	Vn	
サフィックス	n=0	数字形式（10進）
	n=1	英文字表示（初期値）
入力例	ATV1	

Zn	パラメータの初期化	
機能	設定値をAT&Wnであらかじめメモリに記憶された内容に戻します。通信中の場合は、切断を行います。本コマンドから行末までのコマンドは無視されます。	
書式	Zn	
サフィックス	n=0	リセット
入力例	ATZ0	

&Cn	回路CD制御	
機能	回路CDの動作を設定します。	
書式	&Cn	
サフィックス	n=0	回路CDを常時ONにする
	n=1	PIAFSデータリングが張られているとき回路CDをONにする（初期値）
入力例	AT&C1	

&Dn	回路ER制御	
機能	回路ERがONからOFFに変わったときの本商品の動作を設定します。	
書式	&Dn	
サフィックス	n=0	無視
	n=1	
	n=2	ONからOFFで回線切断（初期値）
	n=3	ONからOFFで回線を切断し、Zコマンド実行
入力例	AT&D2	

&F	フルリセット	
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのATコマンドおよびSレジスタをデフォルトに戻します。</li> <li>通信中の場合は、切断を行います。</li> </ul>	
書式	&F	
入力例	AT&F	

&Kn	シリアルポートフロー制御選択	
機能	フロー制御を設定します。	
書式	&Kn	
サフィックス	n=0	フロー制御しない
	n=3	RS/CSでのハードウェアフロー制御（初期値）
入力例	AT&K3	

&Sn	回路DR制御	
機能	回路DRの動作を設定します。	
書式	&Sn	
サフィックス	n=0	常時ON（初期値）
	n=1	回路DRは回路ERにしたがう
入力例	AT&S0	

&Wn	メモリへの記憶の設定	
機能	現在の設定値を記憶します。	
書式	&Wn	
サフィックス	n=0	メモリへ記憶する
入力例	AT&W0	
補足	記憶すべき設定値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ATコマンド En、Qn、Sn、Un、Vn、&amp;Cn、&amp;Dn、&amp;Kn、&amp;Sn、¥Zn、#SBn、\$Mn</li> <li>Sレジスタ S0、S2、S3、S4、S5、S7、S12、S32、S33、S103、S104、S141、S142</li> </ul>	

¥S	レジスタ設定値表示	
機能	ATコマンド、Sレジスタの設定値を表示します。	
書式	¥S	

¥Vn	PSリザルトコード表示	
機能	103から107のリザルトコードを表示するかどうかを設定します。(ATQ0に設定時)	
書式	¥Vn	
サフィックス	n=0	105を除くリザルトコードを表示
	n=1	表示しない（初期値）
	n=2	表示する
入力例	AT¥V1	

¥Zn	アダプタ間プロトコル表示	
機能	接続プロトコルの表示を設定します。	
書式	¥Zn	
サフィックス	n=0	表示しない（初期値）
	n=1	表示する
入力例	AT¥Z0	

#SBn	発信者番号通知	
機能	発信者の番号を相手に通知するかどうかを設定します。	
書式	#SBn	
サフィックス	n=0	通知しない(初期値)
	n=1	発信者番号を通知する
入力例	AT#SBO	

#SNn?	電話番号要求	
機能	本商品の内線番号をパソコンに表示します。	
書式	#SNn?	
サフィックス	n=10	内線番号を表示
入力例	AT#SN10?	

#ST?	受信レベル表示	
機能	受信レベルを表示します。	
書式	#ST?	
入力例	AT#ST?	
表示	<p>0 ; 3段階表示 : 受信した電波の強さ : 10 (固定値)</p> <p>表示は以下の内容を表示します。</p> <p>3段階表示</p> <p>0 : 通信不可 1 : 弱い 2 : 強い</p> <p>7 : 通知不可</p> <p>(ワイヤレスパソコンアダプタで受信レベルの情報が取れなかった場合)</p> <p>受信した電波の強さ</p> <p>電波の強さを数値で表します。値が大きいほど電波が強いことを示します。</p>	

\$ Mn	マルチリンクPPP		
機能	マルチリンクPPPに関する設定を行います。		
書式	\$ Mn=m		
サフィックス	n=0	-	設定値を表示
	n=1	m=0	マルチリンクPPP通信しない(初期値)
		m=1	128kbit/sマルチリンクPPP通信する
	n=2	m=0	リソースBODを行わない(初期値)
		m=1	リソースBODを行う
	n=3	m=0	スループットBODを行わない(初期値)
		m=1	スループットBODを行う
	n=4		リンク追加算出時間(秒) (固定値:30)
	n=5		リンク削除算出時間(秒) (固定値:10)
	n=6		リンク追加しきい値(%) (固定値:70)
n=7		リンク削除しきい値(%) (固定値:20)	
n=8	m=0	MP2リンク目を認証しない	
	m=1	MP2リンク目を認証する(初期値)	
入力例	AT \$ M1=1		

# インターネットにうまく接続できないときは

インターネットに接続できないときの主なチェックポイントです。「故障かな?と思ったら」(P69)と合わせてご確認ください。

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
発信しない	接続ケーブルが外れている	本商品をパソコンに正しく接続してください	P12、14、17、24、27、36、38、46、48
	接続ポートの設定が間違っている	パソコンのポートの設定が本商品を接続しているポートになっているか確認してください	P20、32、41、51
「モデムからの応答がありません」と表示される	接続ポートの設定が間違っている	パソコンのポートの設定が本商品を接続しているポートになっているか確認してください	P20、32、41、51
「モデムは他のプログラムで使用中です」と表示される	接続ポートを他のアプリケーションが使用している	アプリケーションを終了させてから接続し直してください	-
	モデム内蔵パソコンを使用している	外付けTAを使用する方法をパソコンの取扱説明書やパソコンメーカー窓口で確認してください	-
本商品の通信ランプが点灯したあと、消えてしまう	アクセスポイントの選択が間違っている	INSネット64回線用のアクセスポイントを選択しているか確認してください	P20、32、41、51
	アクセスポイントの電話番号が間違っている	アクセスポイントの電話番号が正しく入力されているか確認してください	P20、32、41、52
	ユーザ名、パスワードの入力が間違っている	ユーザ名とパスワードの設定を確認してください	P23、35、45、55
	プロバイダが混んでいる	しばらく待ってから接続し直してください	-
	モデム定義ファイルの選択が間違っている	モデム定義ファイルの選択が合っているか確認してください	P20、32、41、51

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点を確認してください。

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	←P11、14、17、 24、27、36、 38、46、48
	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタを正しく差し込んでください	←P11
インターネットに接続できない	RS-232Cケーブルが正しく接続されていない	本商品とご利用になるパソコンに適合したRS-232Cケーブルを使用して正しく接続してください	←P10、17、 27、38、48
	USBケーブルが正しく接続されていない	本商品とご利用になるパソコンに適合したUSBケーブルを使用して正しく接続してください	←P10、14、 24、36、46
	ユーザ名、パスワード、サーバの設定が間違っている	正しく設定してください	←P22、23、 34、35、43、 45、53、55
パソコン通信に接続できない	RS-232Cケーブルが正しく接続されていない	本商品とご利用になるパソコンに適合したRS-232Cケーブルを使用して正しく接続してください	←P10、17、 27、38、48
	USBケーブルが正しく接続されていない	本商品とご利用になるパソコンに適合したUSBケーブルを使用して正しく接続してください	←P10、14、 24、36、46
通信ができない	電波の弱いところにいる	電波の強いところに移動してください	←P10、11
	主電話機などから離れすぎている	主電話機などに近づいてください	←P10、11
	主電話機などとの間に障害物がある	場所を変えてください	←P10、11
	ISDNコードレスホンの主電話機などに増設の設定がされていない	局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください	

インターネットにつまぐ接続できないときは

# USBポートに関するQ&A

故障かな?と思ったときは、修理に出す前に次の点を確認してください。

## インストールに関して

Q. USBポートを使用できるパソコンのOSは何ですか?

A. Windows® Me / Windows® 98 Second Edition / Windows® 2000 / Windows® XPです。

Q. USBドライバのインストール時にパソコンがフリーズしてしまったのですが。

A. USBドライバのアンインストールを行い、取扱説明書に記載の手順で、もう一度USBドライバをインストールしてください。

## データ通信利用時や、設定ユーティリティ利用時

Q. 通信ソフトウェアや設定ユーティリティ動作中にUSBケーブルの抜き差しや本商品の電源のOFF ONを行ったら、パソコンがフリーズしたのですが。

A. お使いのパソコンによっては、通信ソフトウェアの動作中や、設定ユーティリティの動作中に以下のようなことを行うとパソコンがフリーズしたり、例外エラー等が発生することがあります。

- ・USBケーブルの抜き差し(パソコンのUSBポート、本商品のUSBポートどちらでも)
- ・本商品の電源をOFF ONしたとき

Q. パソコンのスタンバイ、サスペンド機能が動作したあと、データ通信(インターネット接続)や設定ユーティリティの起動ができなくなるのですが。

A. パソコンのスタンバイモード、サスペンド機能を使用しないでください。

また、パソコンの省電力機能によりUSBの使用が制限されることがありますので、コントロールパネルの[パワーマネジメント]または[電源の管理]などで、パソコンの省電力機能を停止させてください。

さらに、パソコンによっては起動時のBIOS設定にて省電力の設定を行うものもあります。ご使用になっているパソコンの取扱説明書を参照して、省電力機能を停止させてください。

## その他

Q. パソコン動作中にUSBケーブルを抜き差しするとパソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生するのですが。

A. お使いになっているパソコンの環境によっては、パソコン動作中にUSBケーブルの抜き差しや、本商品の電源OFF ONを行うと、パソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生することがありますのでご注意ください。

Q. 他のUSBデバイスと同時に使用できますか?

A. 1台のパソコンに本商品と他のUSBデバイスを同時に接続した場合、両デバイスが1つのUSBバスを共用することになります。個々のデバイスの特性、制御方法の違いにより、お互いが影響しあい、本商品の通信速度が遅くなったり使用できなくなる場合があります。

このような場合には、他のUSBデバイスと同時に接続しないようにしてください

Q. USBポートが使用できないのですが。

A. パソコンによってはUSBポートがご利用になれない場合があります。詳しくは、パソコンメーカーにお問い合わせいただくか、RS-232Cポートをご利用ください。

Q. USBポートからのバス給電での動作はできますか?

A. 動作できません。電源アダプタを接続してご利用ください。

Q. Windows<sup>®</sup> でUSBドライバをインストールしても、USBポートが使用できない場合は？

A. 以下の理由が考えられます。

USBドライバが正しくインストールされていなかった。

USBドライバのアンインストールを行い、再度USBドライバをインストールしてください。

他のデバイスとCOMポートの競合が起きている。

USBドライバを正しくインストールしたあとも、USBポートが使用できない場合は、インストールしたUSBドライバとすでにパソコンにインストール済みの他のデバイスとで、競合（COMポートの競合）が起きている可能性があります。

COMポートの競合を回避する手順としては、以下の2つがあります。

1.競合している他デバイス（拡張RS-232Cボードや赤外線デバイス）を使用不可にします。

「コントロールパネル」の「システム」 - 「ハードウェア」 - 「デバイスマネージャ」の「ポート（COM/LPT）」で、競合しているポートのデバイスをダブルクリックする。

[プロパティ] 画面が表示されたら、「デバイスの使用」枠内の [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] のチェックボックスをクリックしたあと、[OK] をクリックする。

（Windows<sup>®</sup> 2000、Windows<sup>®</sup> XPの場合は、[デバイスの使用状態] によって [このデバイスを使わない（無効）] を選択します。）

競合しているポートのデバイスに赤色の×マークが付きます。

パソコンを再起動する。

2.他デバイスの使用COMポート番号の設定を、本商品のUSBドライバと競合しない番号に変更します。

他デバイスのCOMポートの設定方法については、製品により異なるため、その製品の取扱説明書をご覧ください。その製品のメーカーまたはパソコンメーカーにお問い合わせください。

Q. USBドライバをアンインストールしたいのですが。

A. 全OS共通で下記の手順により行うことができます。[W-PADP W-128RU1 USB] をインストールする前の状態に戻りたいときは、付属品のW-128RU1専用CD-ROMに格納されているアンインストーラを使用して行います。

起動中のアプリケーションをすべて終了する。

W-128RU1専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROMドライブアイコンをダブルクリックし、[Uninst] フォルダをダブルクリックする。

Windows<sup>®</sup> XPでデスクトップに [マイコンピュータ] アイコンがない場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[マイコンピュータ] をクリックし、CD-ROMドライブアイコンをダブルクリックし、[Uninst] フォルダをダブルクリックしてください。

Uninst.exeをダブルクリックする。

表示される指示に従ってアンインストールする。

パソコンを再起動する。

Q. フロー制御の設定は？

A. USBポートをお使いの場合、通信ソフトウェアの設定はハードウェア制御（RS-CSフロー制御、CTS-RTSフロー制御）に設定してご利用ください。

Q. USBのオリジナルドライバを使用するときはどういうときですか？

また、どのようにインストールするのですか？

A. Windows<sup>®</sup> MeとWindows<sup>®</sup> 98 Second Editionにおいて、本取扱説明書の手順でUSBドライバをインストールした場合に、USBドライバが正しくインストールできなかつたり、ダイヤルアップ切断時にパソコンがフリーズするなどの事象が発生する場合に、USBのオリジナルドライバを使用してください。インストール手順は、W-128RU1専用CD-ROMの [Manual] フォルダ内のW128RU1\_documents.pdfを参照してください。

### インストールに関して

Q. 128K通信をしたいのですが。

A. 設定ユーティリティで設定してください。設定ユーティリティは、お使いのパソコンにインストールする必要があります。設定方法は、(☛P58)を参照してください。

### 設定ユーティリティ利用時

Q. 128K通信の設定がよくわからないのですが。

A. 設定ユーティリティを起動して、通信速度・リソースBOD・スループットBOD・フォールバックを設定します。  
128Kに設定する場合  
通信速度：“128kbits/s”を選択  
リソースBOD・スループットBOD・フォールバックは、ご利用の環境にあわせて設定してください。  
設定方法は、(☛P58)を参照してください。

### その他

Q. 128K通信の設定をしたのですが、32Kや64K通信になってしまうのですが。

A. コードレス電話機の使用台数や無線受信レベルの状況によっては、フォールバックにより64K PIAFSで発信できないときに自動的に32K PIAFSに速度を落とします。フォールバックさせないためには、設定ユーティリティによりフォールバックを[使用しない]に設定してください。

Q. 128K通信をすると、他のコードレス電話機やPHS、ワイヤレスパソコンアダプタ、ワイヤレスモデムアダプタが圏外になってしまうのですが。

A. 接続する主電話機により、同時利用できるコードレス電話機、ワイヤレスパソコンアダプタ、ワイヤレスモデムアダプタの数の制限があります。128K通信をした場合には、コードレス電話機を4台同時利用した場合と同様となるため、使用する主電話機によっては他のコードレス電話機などは圏外となります。同時利用可能なコードレス電話機などの台数については、接続する主電話機の取扱説明書をご覧ください。



## 数字 / アルファベット

ATコマンド	61、62
ATコマンド形式	62
ATコマンド詳細	65、66、67
ATコマンドを入力する	64
INSネット64回線	8
IPアドレス	22、34、43、53
LEVELランプ	10、11
LINKランプ	10
PIAFS	8、57
PWRランプ	10
RS-232Cケーブル	9
RS-232Cポート	10
Sレジスタ	63
TCP/IP	22、31、34、43、53
USBケーブル	9
USBドライバ	
アンインストール	71
インストール	14、24、70
USBポート	10
Windows® 98	12、24
Windows® 98 Second Edition	12、24
Windows® 2000	12、36
Windows® Me	12、14
Windows® XP	12、46

## 五十音

## 【ア行】

アクセスポイント	20、32、41、52
インターネット	
うまく接続できないとき	68
接続先の設定	20、32、41、51
必要なソフトウェアを インストールする	30
接続するまでの手順	12
エスケープシーケンス	61、63
オンラインモード	63

## 【カ行】

国番号	20、32、41
故障かな?と思ったら	69
コマンド形式	62
コマンドモード	63

## 【サ行】

市外局番	20、32、41
自動着信	61

## 終了

通信を終了する	61
---------	----

仕様	74
----	----

## 接続

## インターネットに

接続するには	20、32、41、51
接続先の設定を行う	20、32、41、51
本商品を接続する	11、14、17、 24、27、36、 38、46、48

スループットBOD	57
-----------	----

設定ユーティリティ	56、58
-----------	-------

## 【タ行】

ダイヤルアップネットワーク	30
着信	61
通信モード	57
データ通信	61
電源アダプタ	9、11
電源アダプタコード差込口	10、11
電波の状態	11
電話番号	20、32、41、52
同期PPP	57

## 【ハ行】

バージョンアップ	59
ハイパーターミナル	64
パスワード	23、35、45、55
発信	61
フォールバック	57
付属品	9
プロバイダ	13
保守サービス	75

## 【マ行】

マルチリンクPPP	57
無線接続	8
モデム定義ファイル	17、27、38、48
モデムドライバ	14、24、36、46

## 【ヤ行】

ユーザID	20、32、41、51
-------	-------------

## 【ラ行】

ランプ表示	10
リソースBOD	57
リザルトコード	62
レジスタ	63

通信規格	PIAFS ( PHS Internet Access Forum Standard ) 2.0版準拠
通信方式	全二重 ( データのみ )
制御コマンド	ATコマンド
通信速度	最大116 800 bit/s
パソコンとの転送速度	38 400、57 600、115 200、230 400 bit/s
エラー訂正	PIAFS準拠
無線区間インタフェース	RCR STD-28 第3版準拠
ホストインタフェース	RS-232Cインタフェース ( 9ピン DSUBコネクタ )
	USBインタフェース ( 4ピン シリーズBプラグ )
使用電源	AC100 ± 10 V ( 50/60 Hz )
消費電力	約4 W
外形寸法	約105(横) × 約85(縦) × 約26(高さ) mm ( アンテナの突起含まず )
質量	約110 g

本商品に使用可能な電源アダプタは、▽91-55962 ( 定格 入力 : AC100 V 10 VA 50/60 Hz 出力 : DC11 V 350 mA ) です。

### 保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

### 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

### 保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

### 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

### お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

### その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター： 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

### 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>  
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120 - 109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2001 NTTEAST・NTTWEST



本2255-1(2001.12)  
W-128RU1トリセツ